

稲敷市

新庁舎建設に関する市民意向調査と諸計画に係る検証報告

【報告書】

平成21年9月

筑波大学 小場瀬 令二

《目 次》

1. アンケート調査の目的及び全体フレーム	1
2. アンケート調査実施のスケジュール概要	3
3. アンケートの回収率等	3
4. 集計結果	4
5. 新庁舎建設にかかわる計画等の再検証	27
5-1. 合併時の新庁舎建設に関する考え方	27
5-2. 総合計画における新庁舎建設に関する考え方	27
5-3. 新庁舎建設プロジェクトチーム報告書の再検証	28
5-4. 基本構想の再検証	29
5-5. 基本計画の再検証	34
6. 諸計画再検討	39
6-1. 事業費の削減と既存施設の有効利用	39
6-2. 市民の利便性の確保	40
6-3. 計画への市民参加	40
6-4. 検討すべき変更点についての列挙	40

資料 1 稲敷市新庁舎建設に関する市民意向調査（アンケート票）

資料 2 新庁舎建設市民意向調査フリーアンサー整理表

1. アンケート調査の目的及び全体フレーム

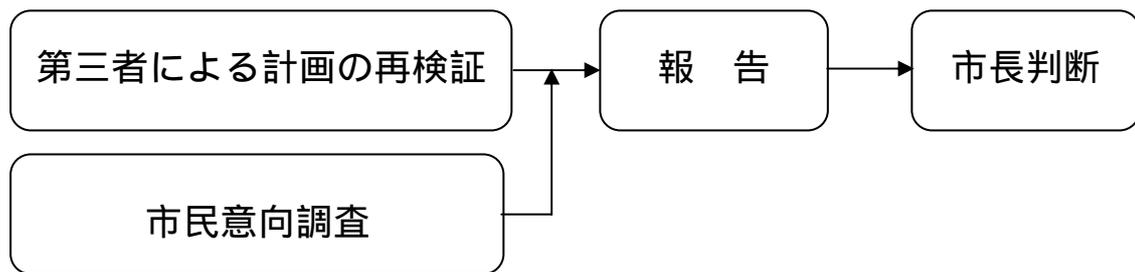
2009年4月に稲敷市長選挙が実施され、新市長が誕生した。この選挙で新市長はマニフェストで「新庁舎の建設については一時凍結し、市民の意向を把握してそれに沿って方向性を決めたい」としていた。

そこで市民意向調査の実施を市役所のインナーワークではなく、地元筑波大学の研究室に調査を委託し、庁舎建設計画について第三者の立場、つまり中立的な立場での再検証・判断を行い、行政が市民に対して公平な判断と説明責任を果たすための資料を作成することを本調査の目的とする。

アンケートの内容は、新庁舎の建設の賛否を市民に問うとともに、「新庁舎」を建設する場合には、市民が新庁舎にどのような希望を持っているのか等についても調査した。

(1) 市民意向調査の基本的な流れ

今回の調査は、今までの新庁舎計画の構想、計画等についても第三者的立場から検証し、また市民意向調査を実施し、集計分析して、調査結果を市長に報告する。その報告に基づき、市長は総合的な判断を下し、今後の行政を進めていく。従って、報告の内容と、市長の総合的判断にはずれが生じることもありうると思わなければならない。



(2) 市民意向調査の流れとその後の想定される判断

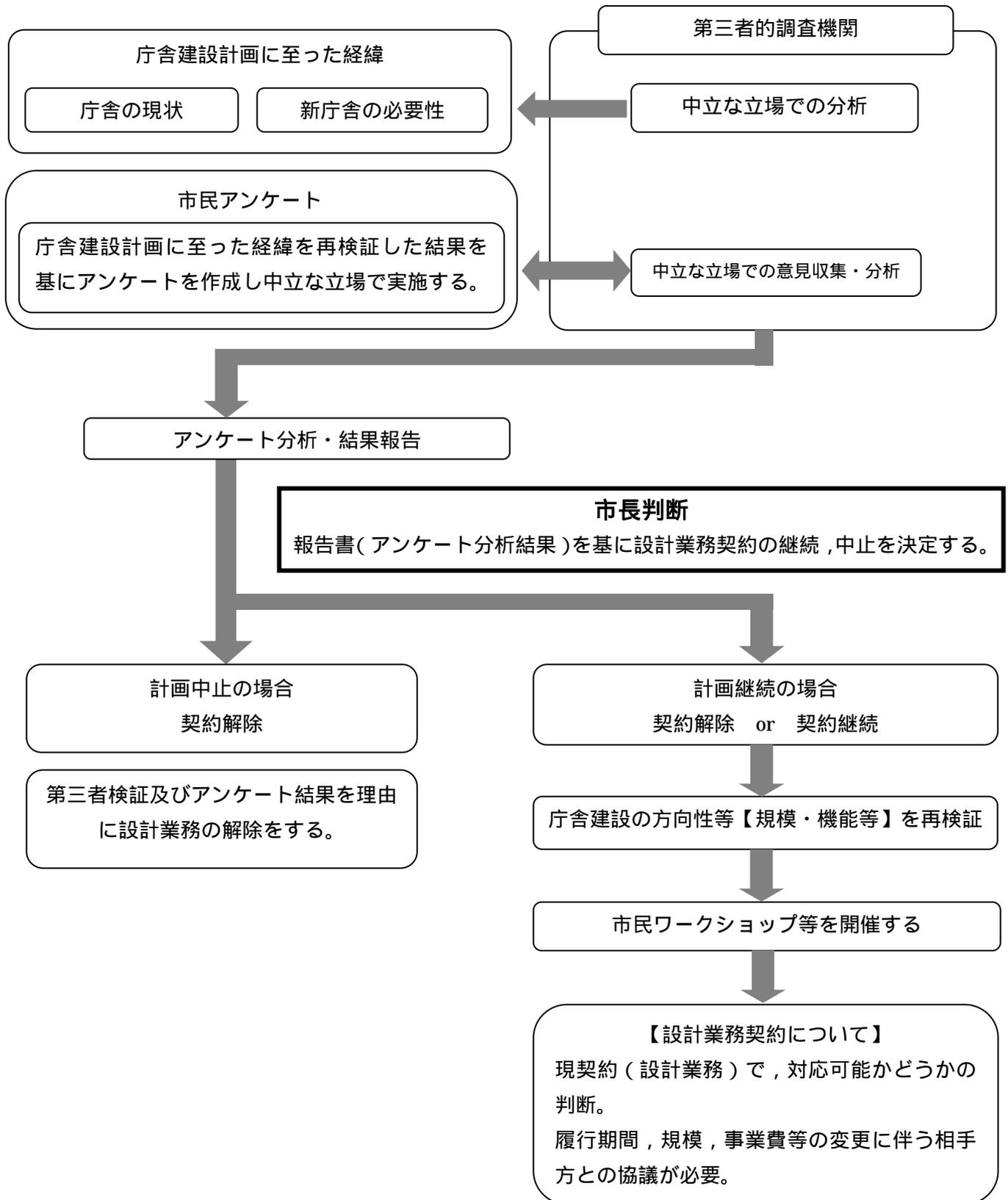
市民意向調査では新庁舎建設に係わる建設の賛否を市民に問うことがアンケートの主要な部分である。従って、賛否の結果、市民の多くが新市庁舎建設に反対という結果になる可能性もありうる。実際過去に実施された他都市での同様な市民意向調査では、新市庁舎建設について市民の多くが反対という結果もしばしば出ている。そこで、市長の総合的判断でも、新市庁舎の建設の延期、もしくは中止となる場合は、現在進行中の(休止しているが)新市庁舎の基本設計、実施設計作業は中止になる可能性も十分ありうる。

また、市民意向調査の結果を踏まえて市長の総合的判断として、新市庁舎建設計画自体は継続となったにしても、基本構想、基本計画の中で検討された計画内容をそのまま実施するわけではなく、新市庁舎建設の基本構想、基本計画を再度見直し、市民意向調査の結果や市民との対話を通して、計画の修正を行うこととしている。

つまり、本調査は「新市庁舎建設ありき」を前提に実施するのではなく、基本構想、基本計画を市民に十分に説明し「建設の賛否を問う」アンケートのスタイルとした。

(3) 今回調査の流れ

以下に今回の調査の大きな流れを示す。



2. アンケート調査実施のスケジュール概要

市民意向調査は以下のスケジュールに沿って 2009 年 6 月より実施された。

- 6 月 3 日 筑波大学 小場瀬研究室に稲敷市より調査依頼がされた。
ただちに小場瀬研究室でアンケート調査の内容について検討開始。
- 6 月 30 日 アンケート調査の内容が確定，アンケート調査票の印刷。
- 7 月 3 日 アンケート票を市民に郵送(2000 票)。
- 7 月 9 日 アンケート協力者への礼状(葉書)を郵送(2000 部)。
- 7 月 12 日 締め切りでアンケートを回収。ただちにデータ入力作業開始。
- 7 月 24 日 データの入力作業終了。データの再チェック，フリーアンサーの作業。
- 7 月 27 日 単純集計開始。
- 7 月 31 日 第 1 次単純集計結果整理。

3. アンケートの回収率等

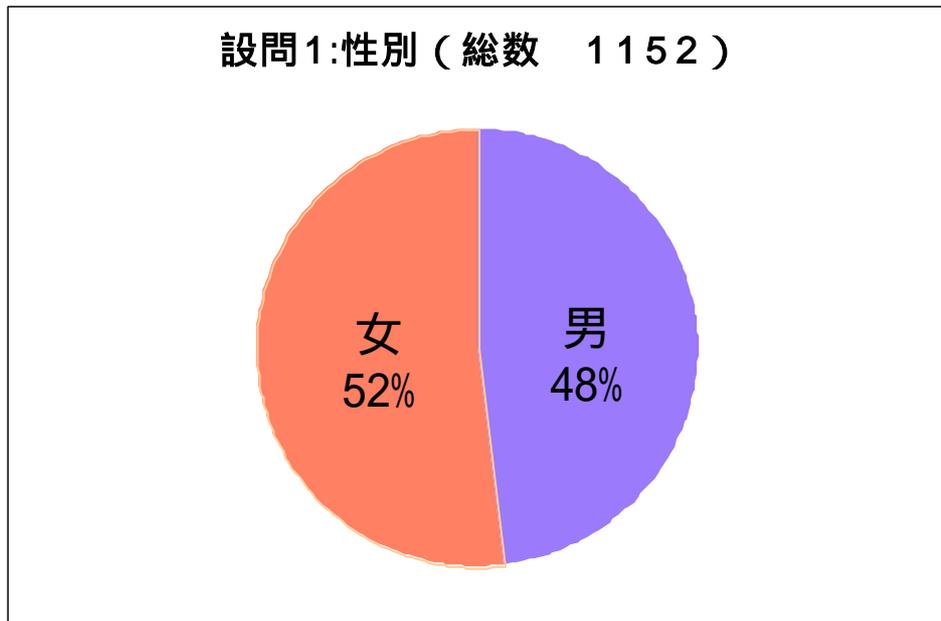
配布数	2000 票(個人単位，男女，地域，年齢を勘案した住民登録からの抽出)		
配布回収方法	郵送配布，郵送回収		
郵送未到着	25 票		
回収数	1177 票(2009 年 7 月 24 日現在)	回収率	59.6%
	回答拒否，無回答	20 票	

4.集計結果

以下設問ごとに集計結果を表示する。

設問1. 性別は

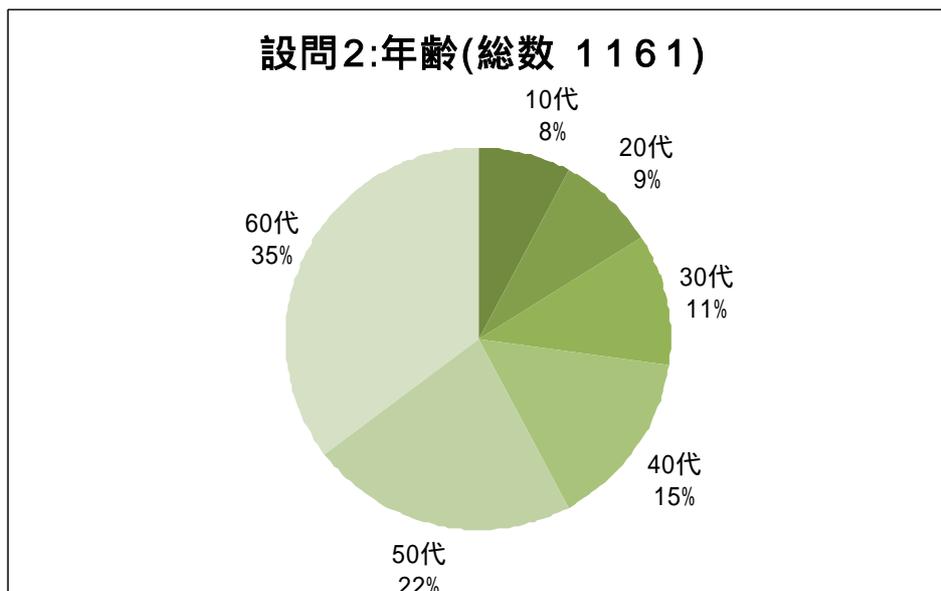
男 女



回答者の男女構成を見ると、バランスは取れている。

設問2. 年齢は

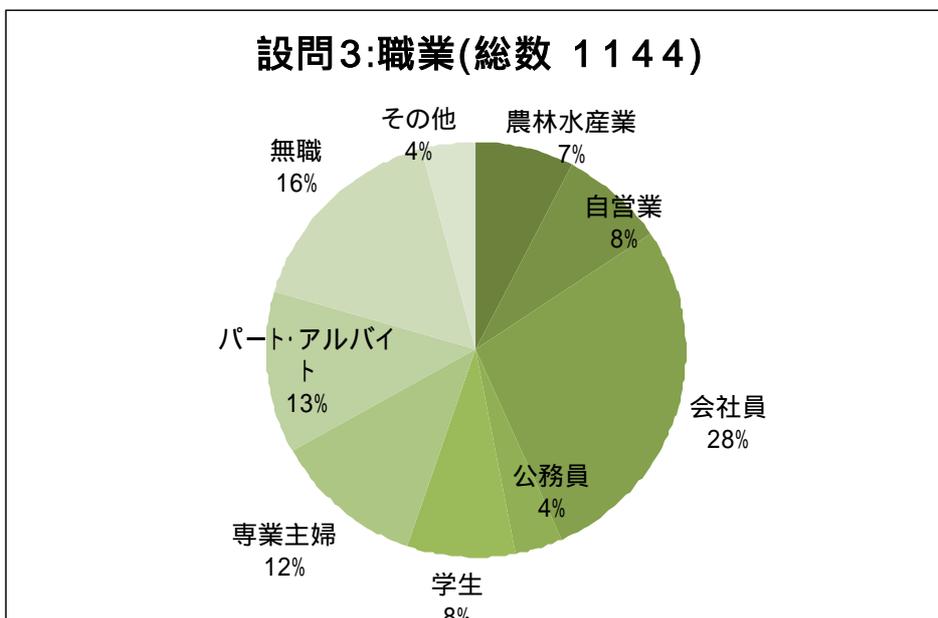
10代 20代 30代 40代 50代 60歳以上



回答者の年齢構成を見ると、現状の稲敷市の年齢構成と一致している。

設問3. 職業は以下の分類です。どれに当てはまりますか。

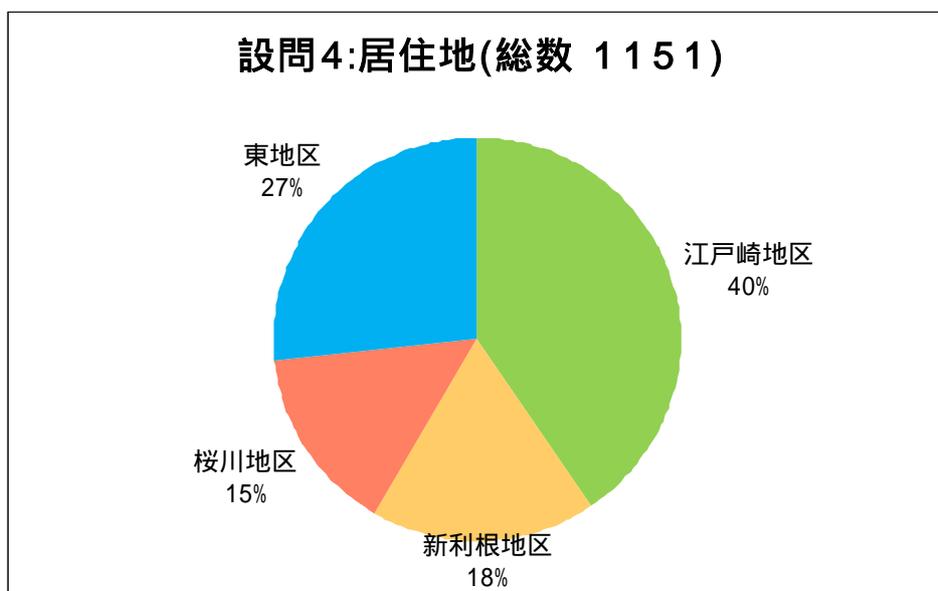
農林水産業 自営業 会社員 公務員 学生 専業主婦
 パート・アルバイト 無職 その他 ()



回答者の職業構成を見ると、現状の稲敷市の職業別人口と一致している。

設問4. お住まいはどちらでしょうか。大字名までお書きください。

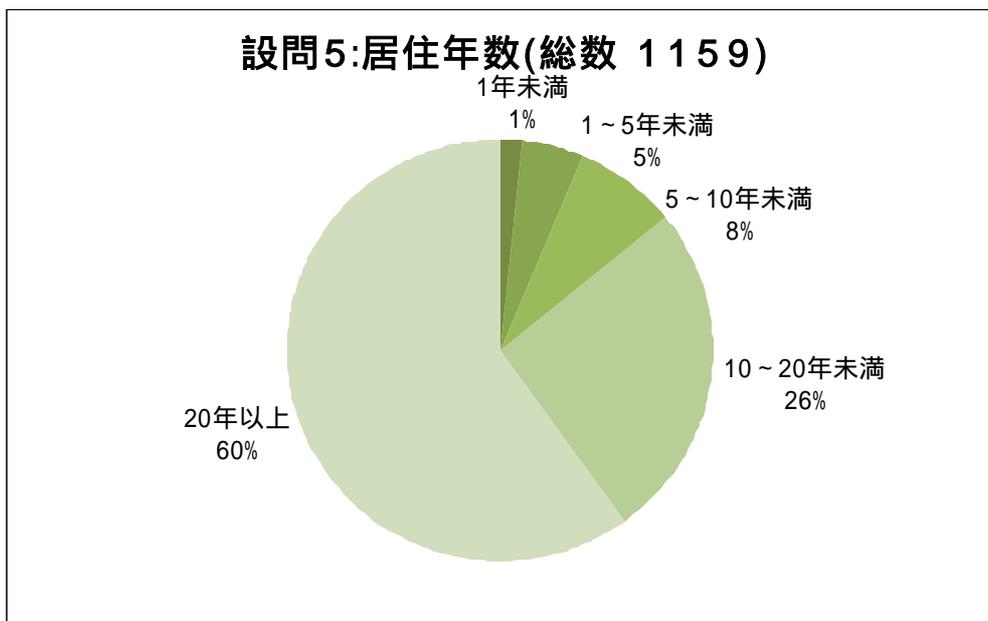
江戸崎地区 () 新利根地区 ()
 桜川地区 () 東地区 ()



回答者の地区別を見ると、現況の稲敷市の地区別人口構成と概ね一致している。

設問5. 現住所に居住して何年目ですか。

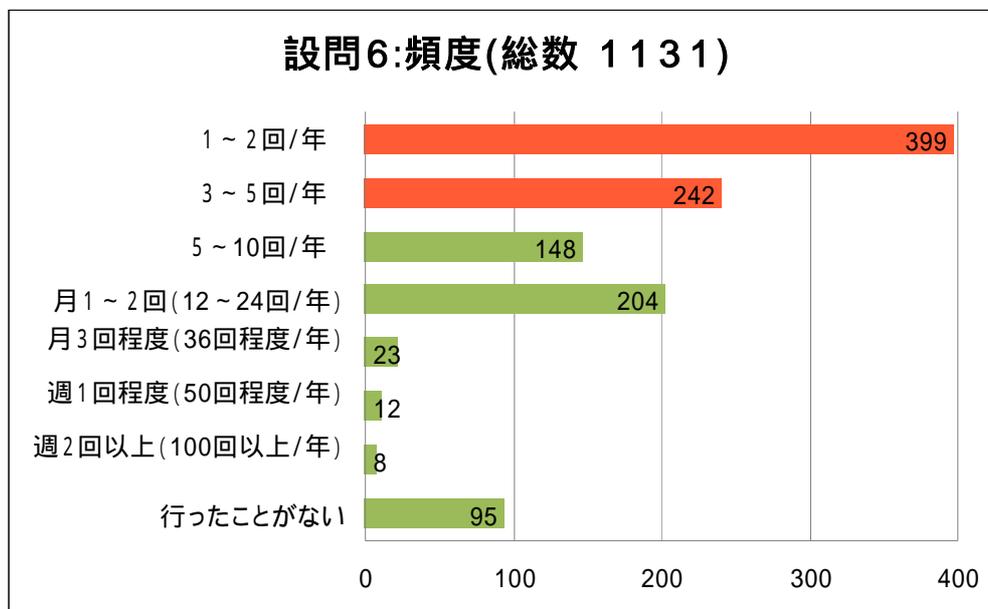
1年未満 1～5年未満 5～10年未満 10～20年未満 20年以上



居住年数を見ると、一般の都市に比較して安定的に長期に居住されている方が多い。

設問6. 市役所に行く頻度はどの程度ですか。(下線部分に数字も入れてください)

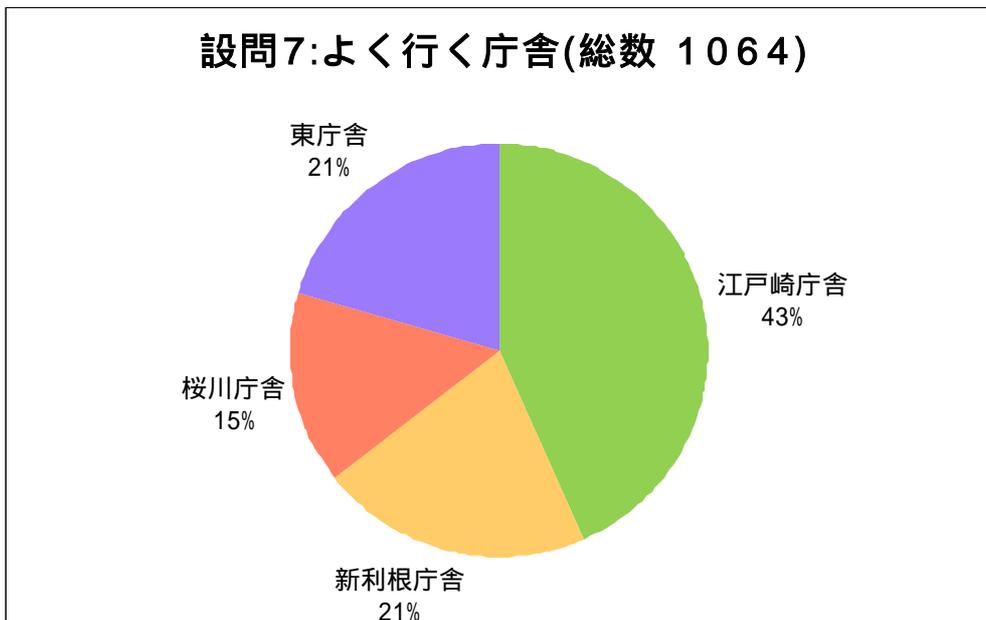
週____回程度 月____回程度 年____回程度 行ったことがない



市役所への頻度を見ると、年に「1～2回」及び「3～5回」の頻度が多く、これらで過半数(約57%)を占めており、月3回以上の頻度は、全体の約4%程度となっている。また、「月1～2回」は2割近くある一方で、「行ったことがない」も1割近くを占めている。

設問7. どの庁舎に一番よく行かれますか。

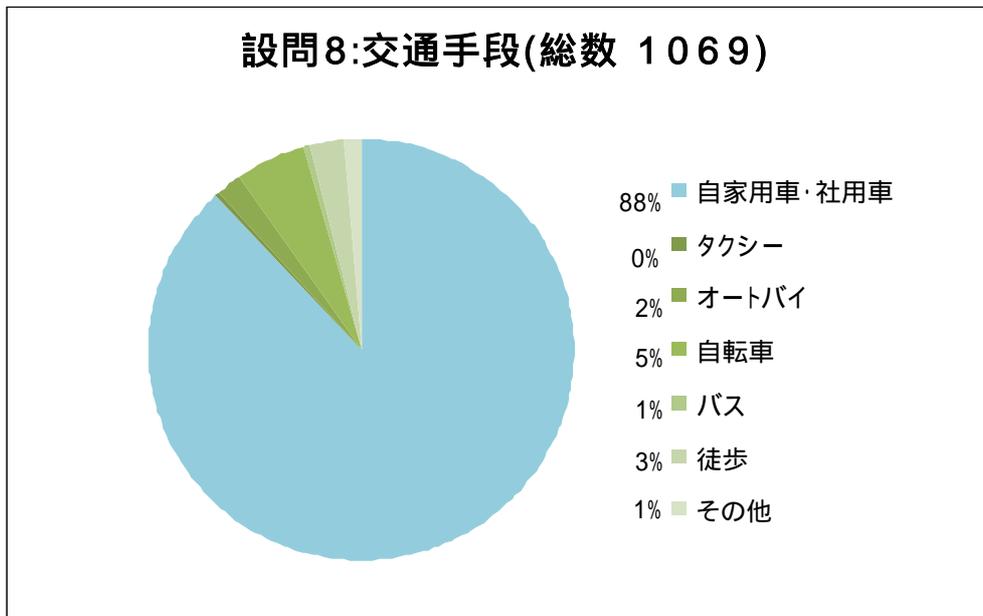
江戸崎庁舎 新利根庁舎 桜川庁舎 東庁舎 特に決まっていない



よく行く庁舎別を見ると，設問4の居住地との対応性が高く，各地区ごとにそれぞれの庁舎に行く傾向が強く見られる。

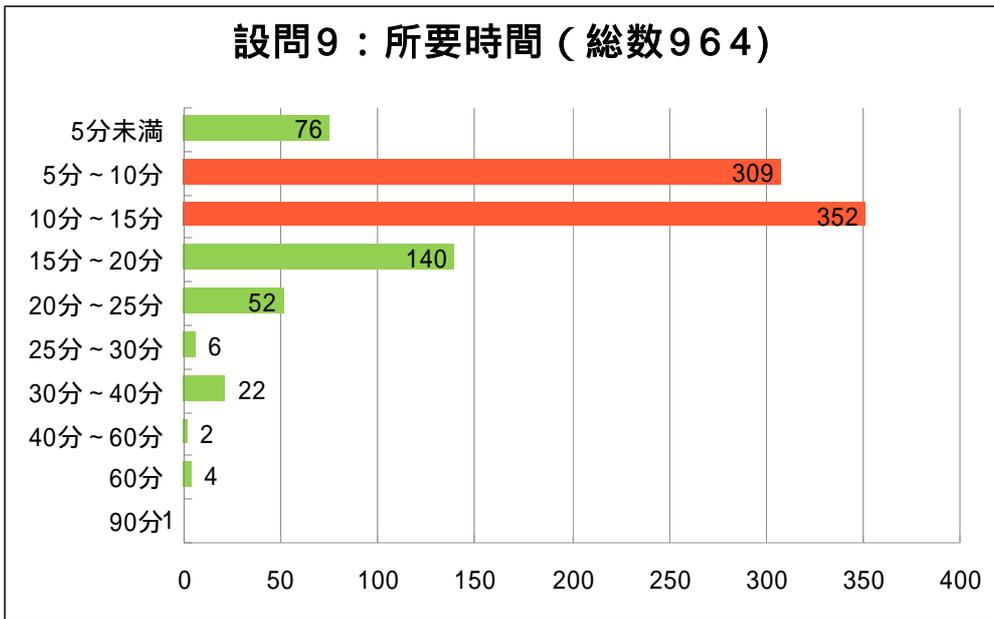
設問8. あなたは庁舎を訪れる際，一番よく利用する交通手段は何になりますか。

自家用車・社用車 タクシー オートバイ 自転車
 バス 徒歩 その他()

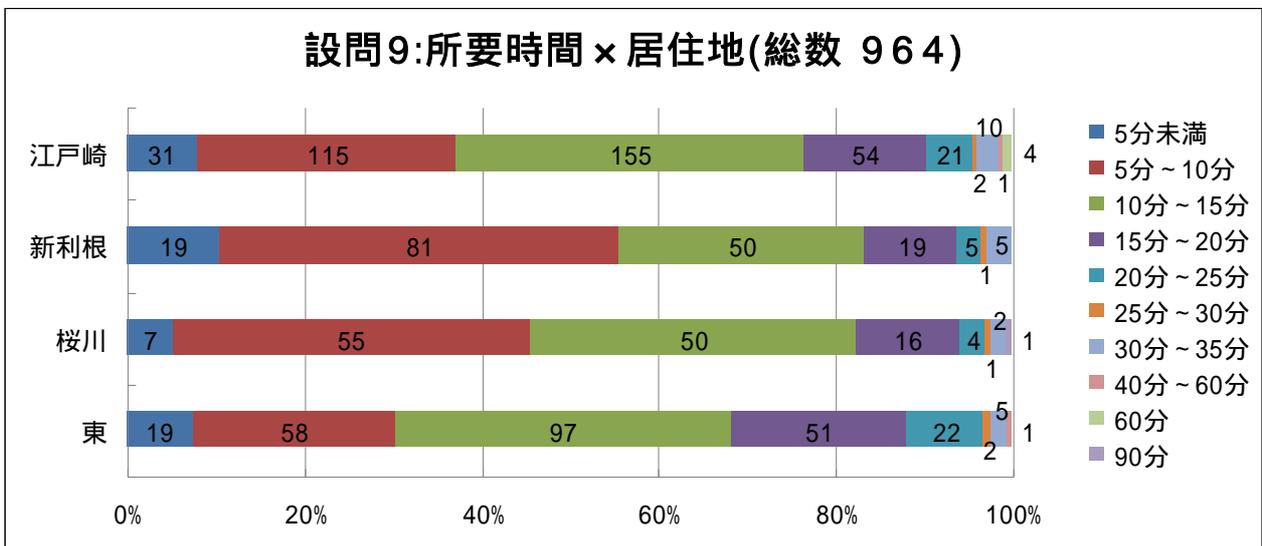


庁舎への交通手段を見ると，全体の9割近くが「自家用車・社用車」であり，バスの利用はほとんどない。近隣の市民の多くは「自転車」や「徒歩」であり，それ以外の方はほとんどが車を利用していると思受けられる。

設問9. あなたがよく行く庁舎に行くのにかかる時間はおおよそ何分ですか。()程度



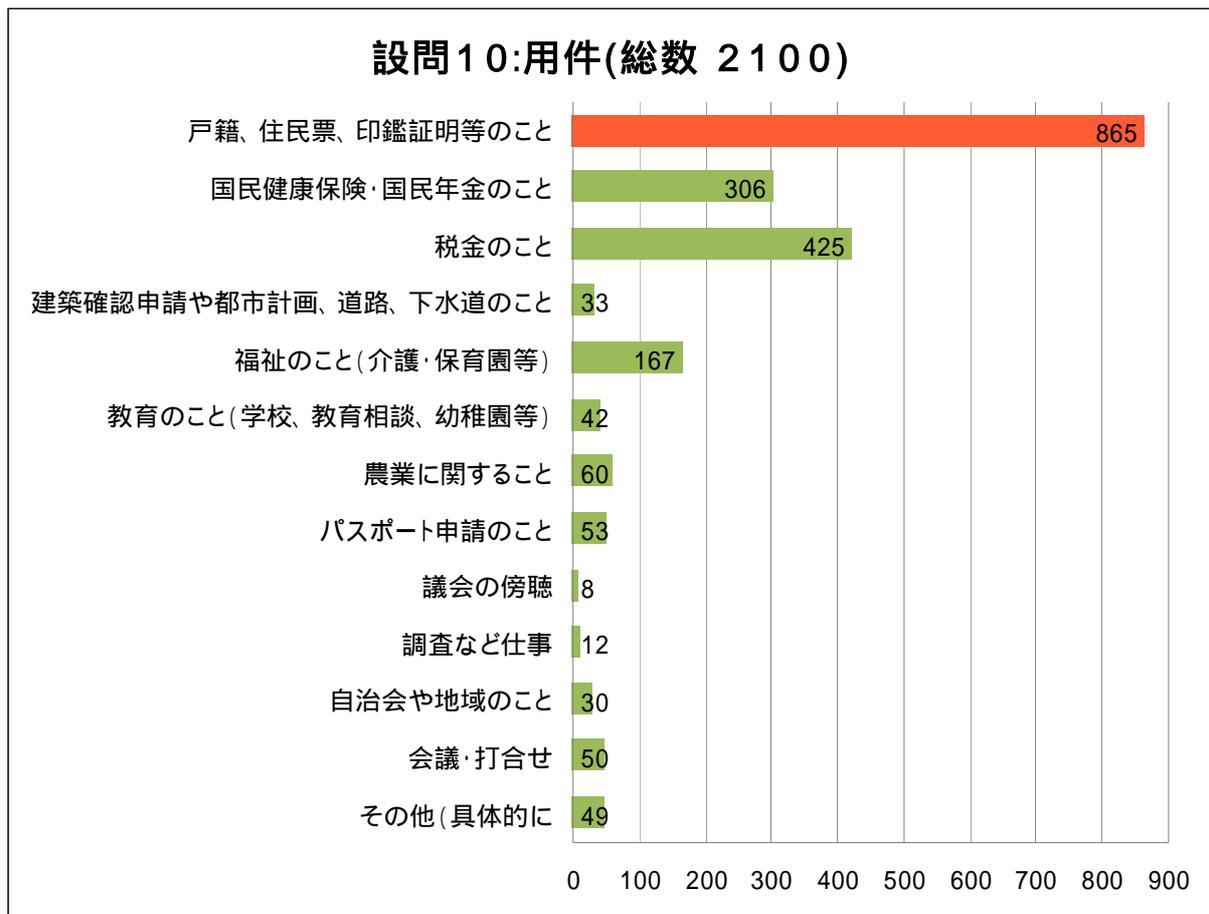
各地区の分庁舎へ行く時間を見ると、「10分～15分」が最も多く、次いで、「5分～10分」となっており、20分程度で到着する回答者が大多数で、30分以上かかる場合は非常に少ない。



居住地別の各地区の分庁舎へ行く時間を見ると、新利根地区においては10分以内が5割を超えるなど特徴的な部分はあるが、20分程度というサービスレベルを想定するならば、いずれの地区においても、9割程度はそのサービスレベルに達している。

設問 10. どのような用件で市役所を訪れましたか。(該当するものすべてに)

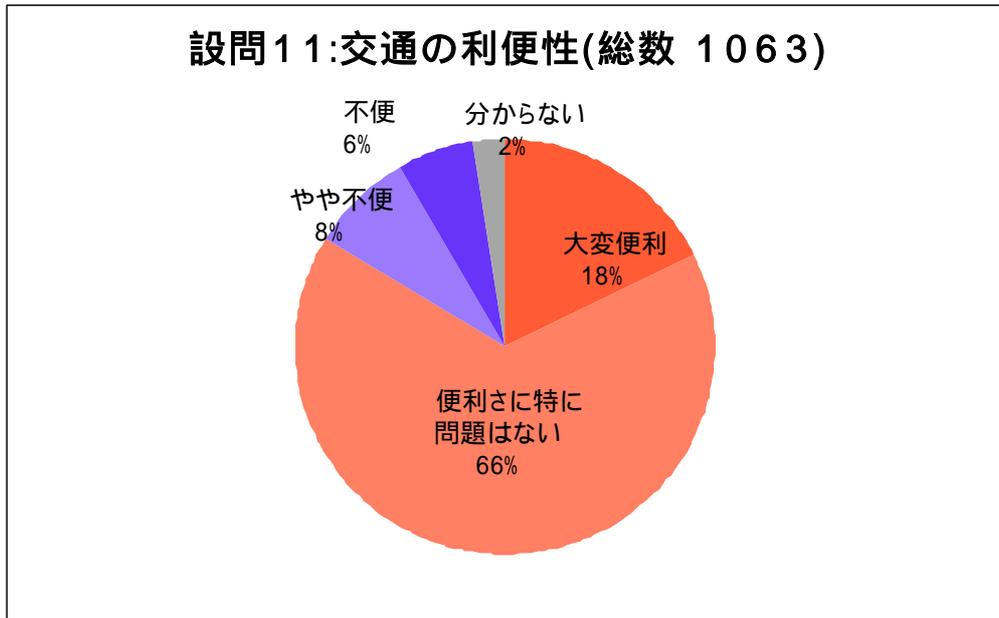
- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 戸籍，住民票，印鑑証明等のこと | 国民健康保険・国民年金のこと |
| 税金のこと | 建築確認申請や都市計画，道路，下水道のこと |
| 福祉のこと(介護・保育園等) | 教育のこと(学校，教育相談，幼稚園等) |
| 農業に関すること | パスポート申請のこと |
| 議会の傍聴 | 調査など仕事 |
| 自治会や地域のこと | 会議・打合せ |
| その他(具体的に) | |



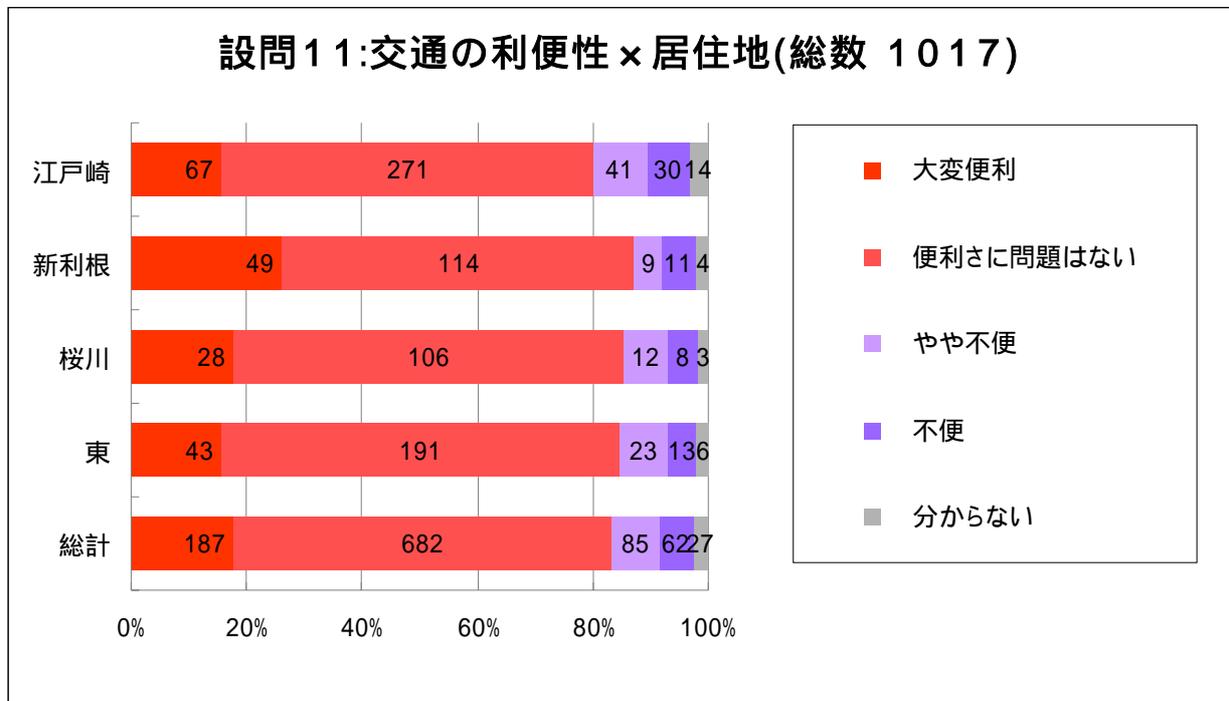
市民が庁舎へ出かける目的を見ると，最も多い回答は「 戸籍，住民票，印鑑証明等のこと」で，回答者の4割以上を占めており，次いで，「 税金のこと(約20%)」，「 国民健康保険・国民年金のこと(約15%)」となっている。

設問 11. あなたがよく行く市役所に現在使っている交通手段で行く時の便利さはどうでしょうか。

大変便利 便利さに特に問題はない やや不便 不便 わからない



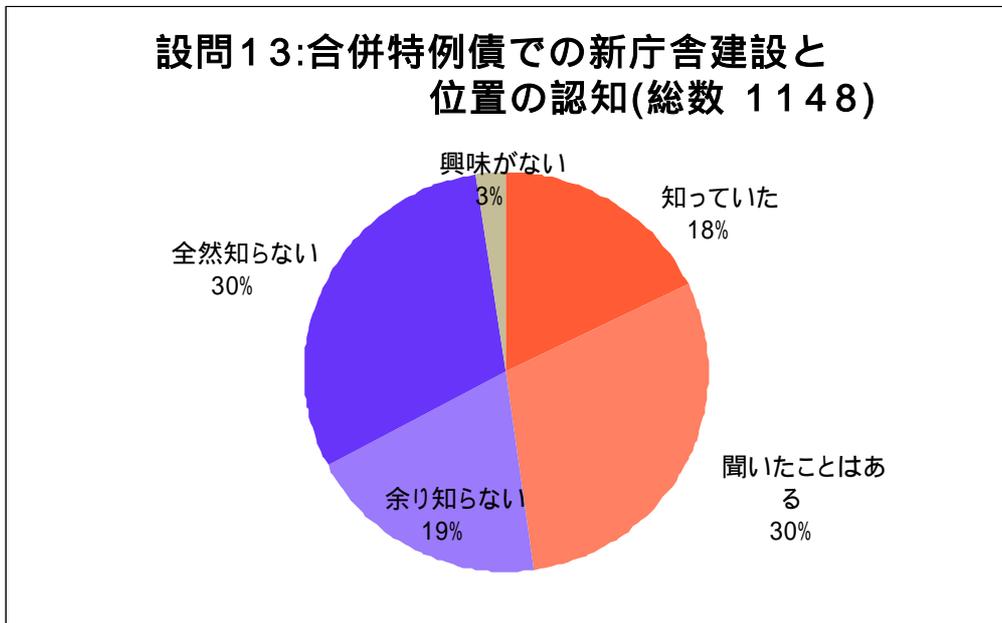
よく行く庁舎（普段の交通手段による）への便利さを見ると、「便利さに特に問題はない」が最も多く、全体の 7 割近くを占めており、次いで、「大変便利」が 2 割程度となっている。



居住地別のよく行く庁舎（普段の交通手段による）への便利さを見ると、新利根地区で「大変便利」がやや高い割合を占めている以外は、特に全体的傾向とほぼ同様となっている。つまり、現在の各庁舎での分庁方式における交通の便という観点からすると、問題は少ないと読み取れる。

設問 13. 「合併に伴う財政支援が受けられる期間内に、新庁舎を建設するものとし、その位置については、新市において検討する」としてあります。このことをご存知でしたか。

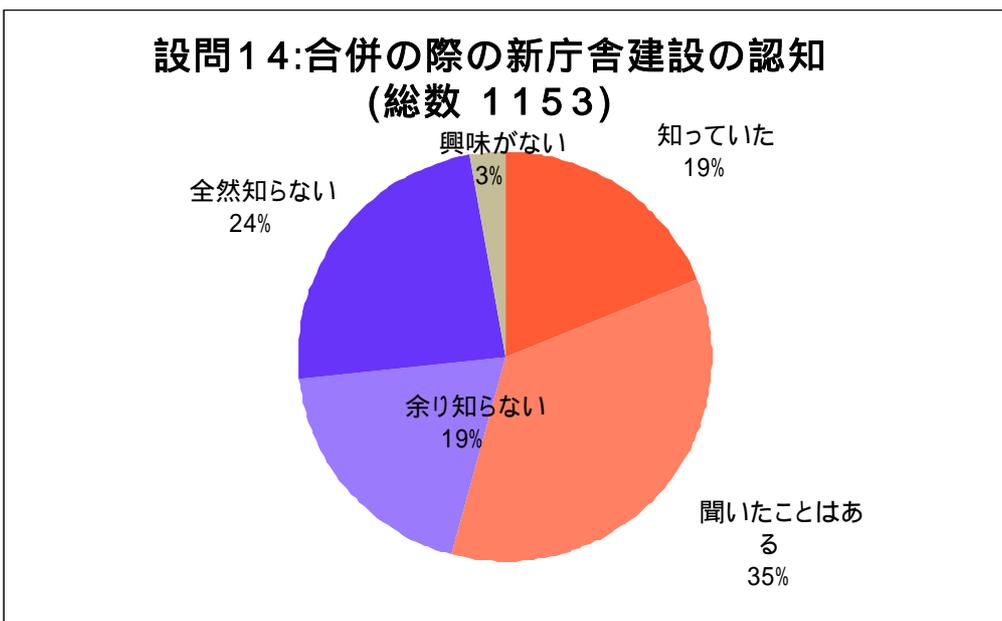
知っていた 聞いたことはある 余り知らない 全然知らない 興味がない



新市建設計画での合併特例債や建設位置について検討することについては、約半数が「知っていた・聞いたことはある」である反面が、「全然知らない・余り知らない」も約半数となっている。

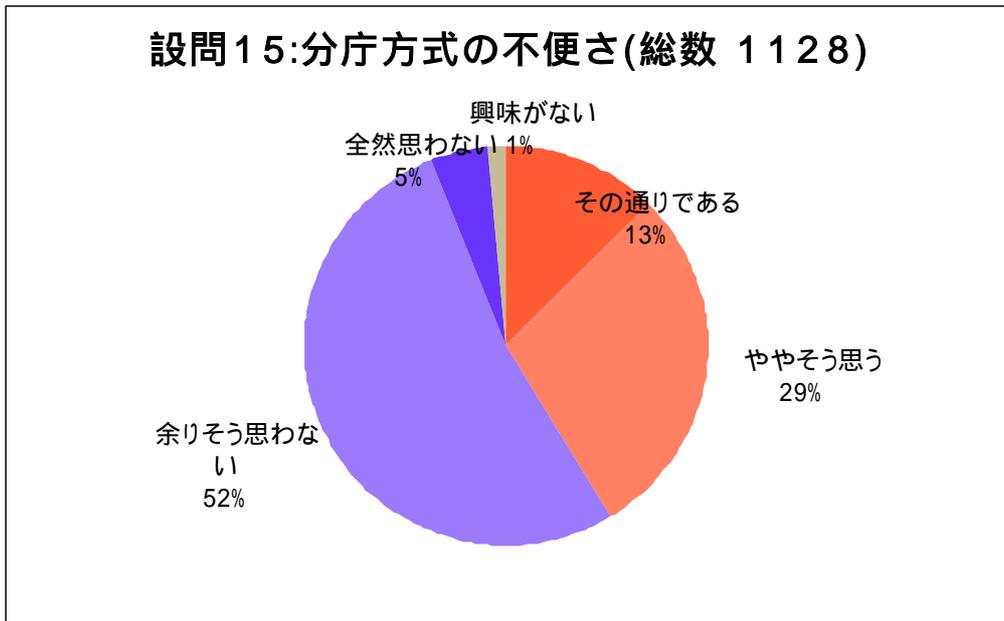
設問 14. 合併の際、立案された「新市建設計画」の中で新庁舎の建設がうたわれています。このことについて伺います。

知っていた 聞いたことはある 余り知らない 全然知らない 興味がない



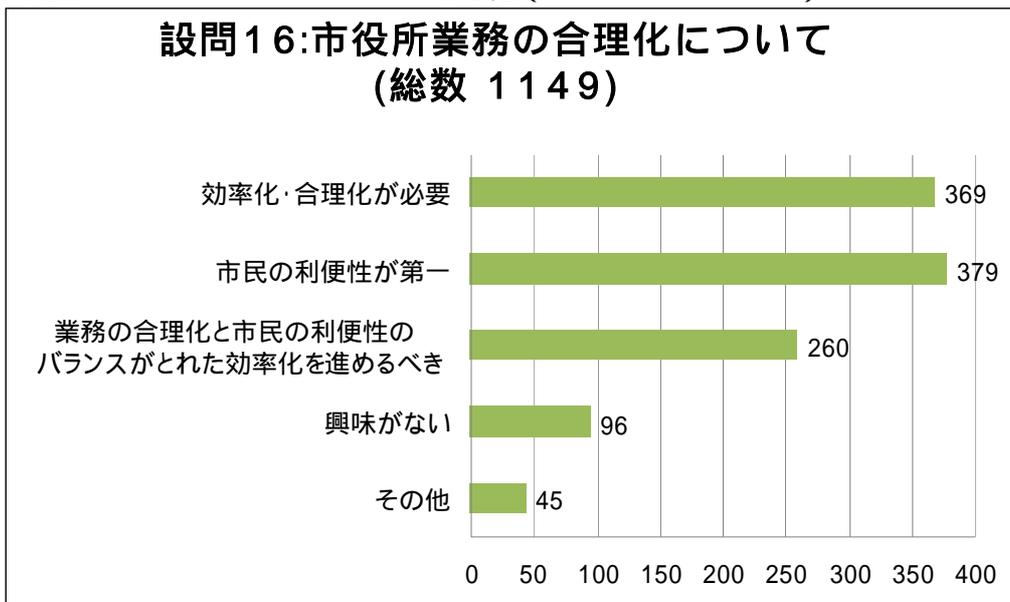
新市建設計画の中で新庁舎の建設がうたわれていたことについては、半分以上が「知っていた・聞いたことはある」である反面、「全然知らない・余り知らない」も4割以上となっている。

設問 15. 現況のように福祉，税務，建設等が別の庁舎に分かれている分庁方式だと，なかなか業務の効率化や市民の利便性向上が進まず非効率とされています。このことについて伺います。
 その通りである ややそう思う 余りそう思わない 全然思わない 興味がない



分庁方式の非効率性については，「余りそう思わない」が過半数を占めている反面，「その通りである・ややそう思う」も4割以上となっている。

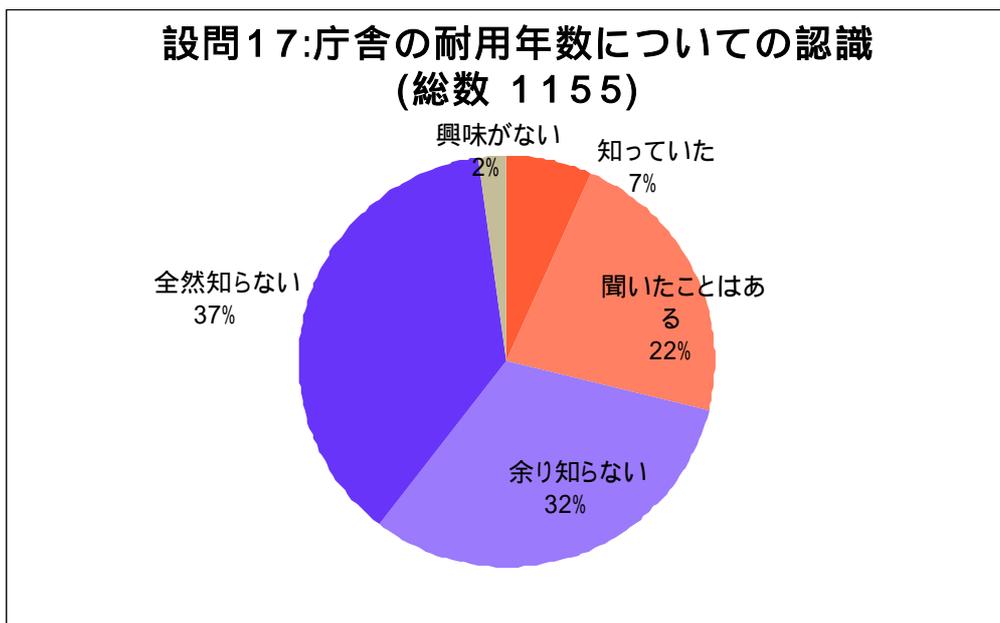
設問 16. 合併する際，市役所業務の合理化が求められました。このことについて伺います。
 効率化・合理化が必要 市民の利便性が第一
 業務の合理化と市民の利便性のバランスがとれた効率化を進めるべき
 興味がない その他()



市役所業務の合理化については，「市民の利便性が第一」が最も多く，次いで，「効率化・合理化が必要」となっている。「業務の合理化と市民の利便性のバランスの取れた効率化を進めるべき」も2割以上を占めている。

設問 17. 現在の各庁舎の建物については新耐震基準に対応していないものも少なくなく、老朽化が進み大規模な修繕が必要となっております。そこで「新庁舎建設基本構想」の中で検討され、耐震補強と大規模修繕に約 19 億円程度の工事費がかかるとされております。既存庁舎の耐震補強を行い使用したとしてもコンクリートの経年劣化による耐用年数（築後 47 年）には建替え等を実施しなければなりません。稲敷市の場合、ほとんどの庁舎が 15 年後ぐらいには耐用年数を向かえるため、新庁舎を建設したほうがかなりの経費が節減できるという試算がされています。このことについて伺います。

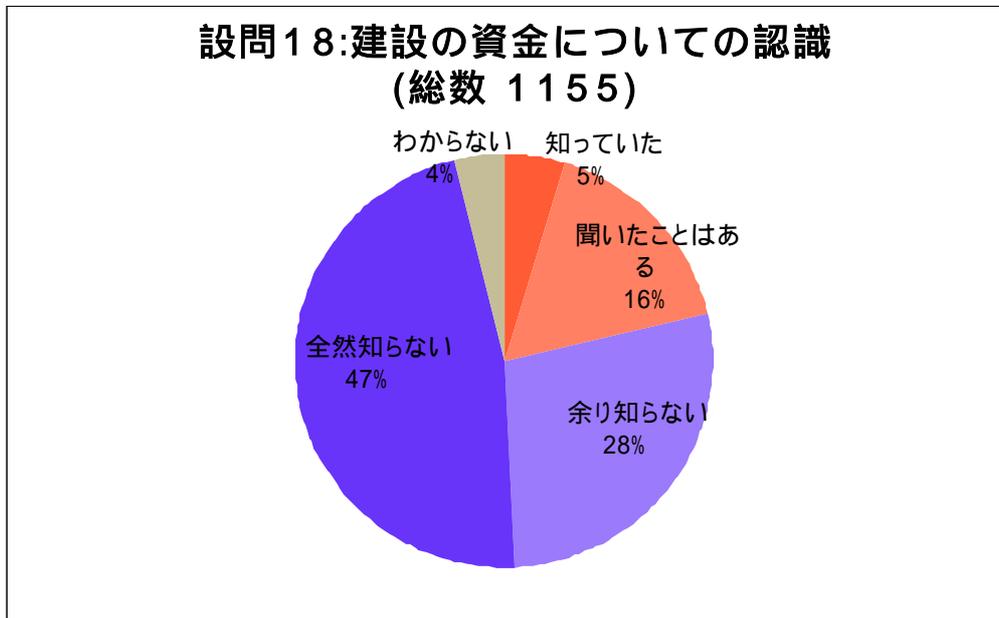
知っていた 聞いたことはある 余り知らない 全然知らない 興味がない



各分庁舎の耐用年数の事項はかなり専門的な話であり、この件について多少でも知っている人の割合は3割程度で、大部分の人は知らなかったようである。

設問 18. 「新庁舎建設基本計画」では、新庁舎の建設には 45 億円が予定され、そのうち 25 億円は以前からの積立金、残りの 20 億円は新市建設に伴う合併特例債で対応する計画になっています。このことについて伺います。

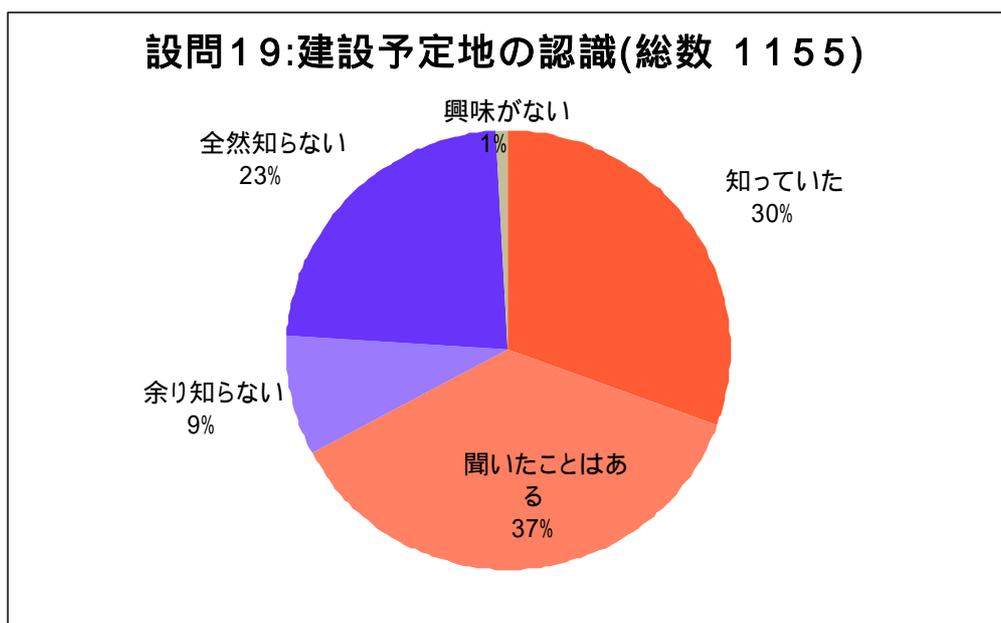
知っていた 聞いたことはある 余り知らない 全然知らない わからない



新庁舎の建設資金の事項も「設問 17」同様に、かなり専門的な話であり、この件について多少でも知っている人の割合は 2 割程度で、大部分の人は知らなかったようである。

設問 19. 建設予定地の選定にあたり、「市の真ん中」「人口の中心」「市，県の土地」「圏央道インターチェンジ付近」といった観点から7つの候補地が検討され，道路，水道，下水道，路線バス，利便性，コスト面，法的規制等について評価した結果，江戸崎西高等学校跡地が選ばれました。このことについて伺います。

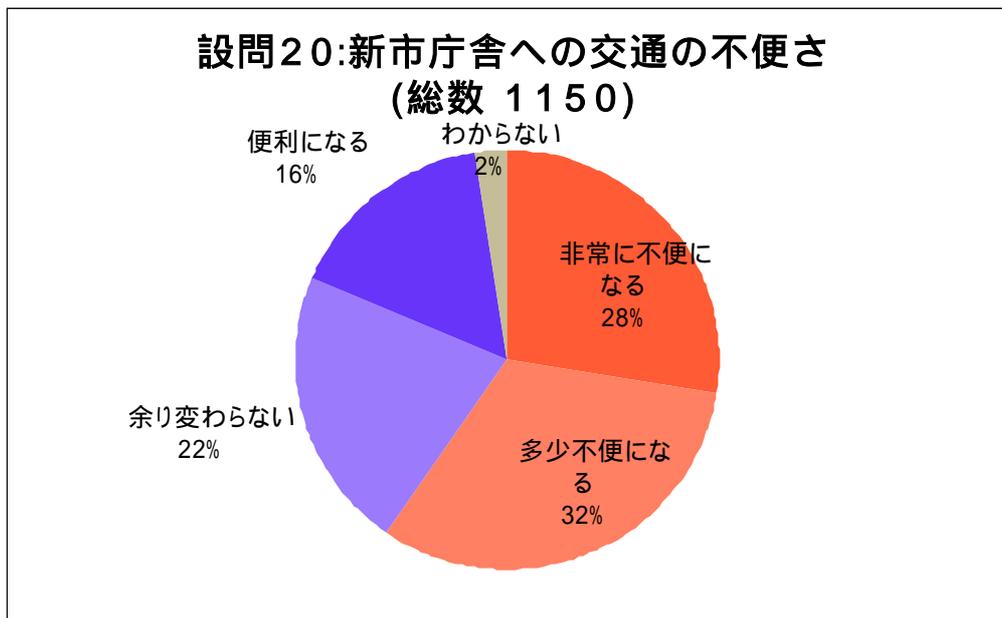
知っていた 聞いたことはある 余り知らない 全然知らない 興味がない



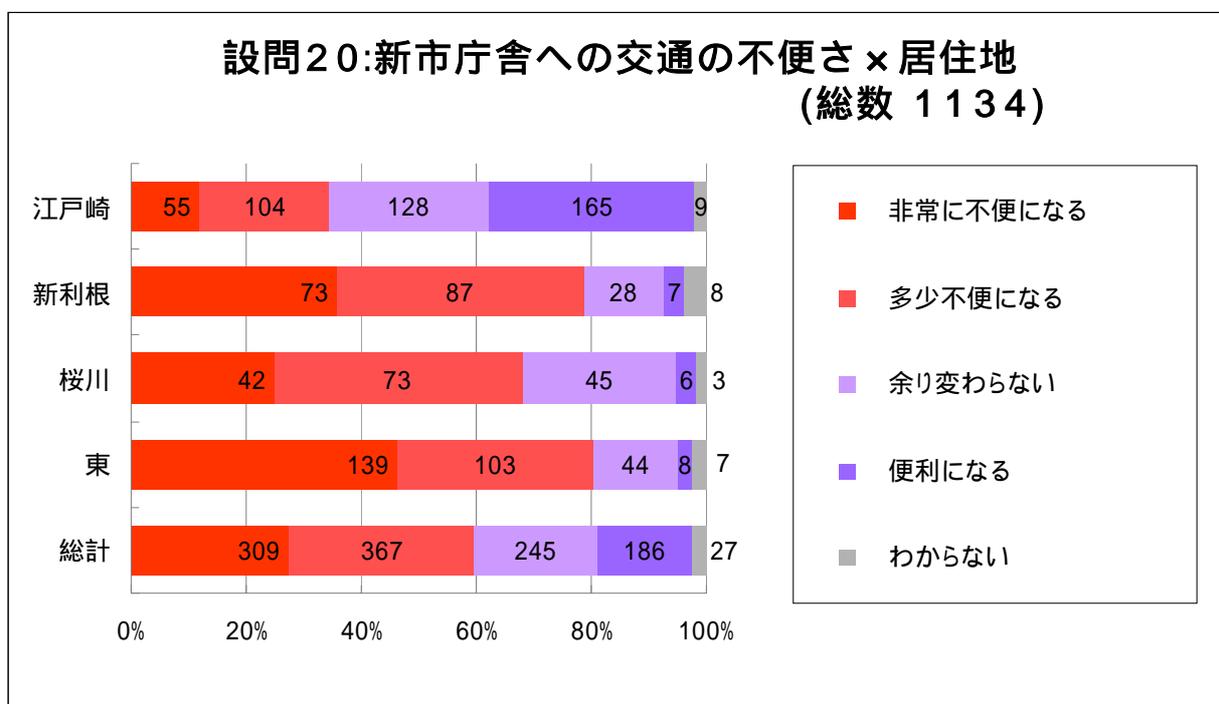
新庁舎の建設予定地については、「知っていた・聞いたことはある」が全体の7割近くを占めており、「全然知らない・余り知らない」が約3割となっている。

設問 20. 江戸崎西高校跡地に新庁舎がまとめられると、あなたにとって不便さは？

非常に不便になる 多少不便になる 余り変わらない 便利になる わからない

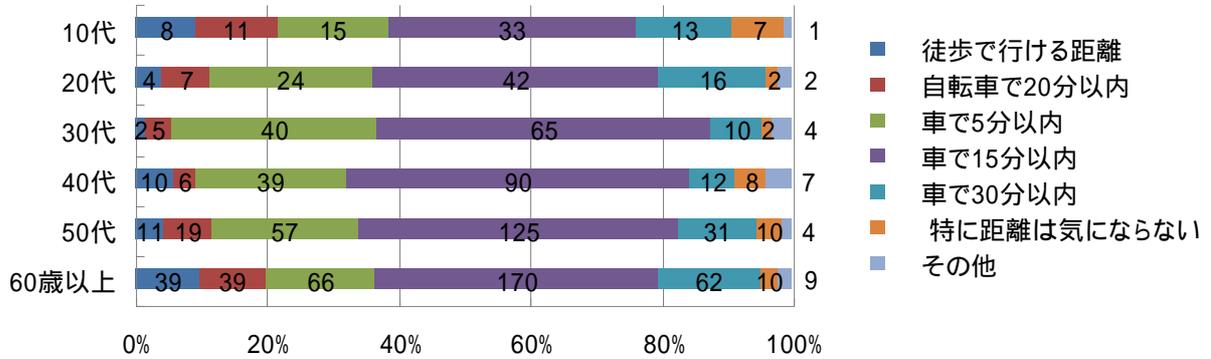


新市庁舎の不便さを見ると、「非常に不便になる・多少不便になる」が全体の6割を占めており、「便利になる・余り変わらない」が4割近くとなっている。



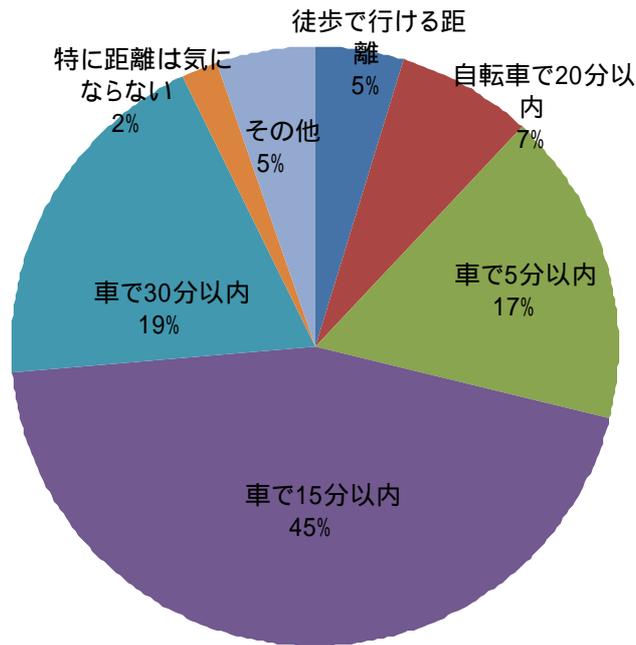
居住地別の新市庁舎への交通の不便さを見ると、江戸崎地区は「非常に不便になる・多少不便になる」の割合は低く、「余り変わらない」及び「便利になる」の比率が高い。それに対して東地区は「非常に不便になる」とする割合が4割を超えており、「多少不便になる」の回答分も加えると8割を超えており、何らかの対応が必要である。また同様に新利根地区でも「非常に不便になる」の回答が1/3程度となっており、「多少不便になる」とする人も加えると比率は8割近くにも上る。

設問21:新庁舎まで許容できる距離×年齢別 (総数1137)



年齢別の新庁舎までの許容できる距離については、各年齢いずれも車を利用するせいか余り違いはなく、60歳以上でも車を使って15分なり30分程度なら利便性が格段に落ちることはなさそうである。

東地区60歳以上女性の許容距離(総数152)

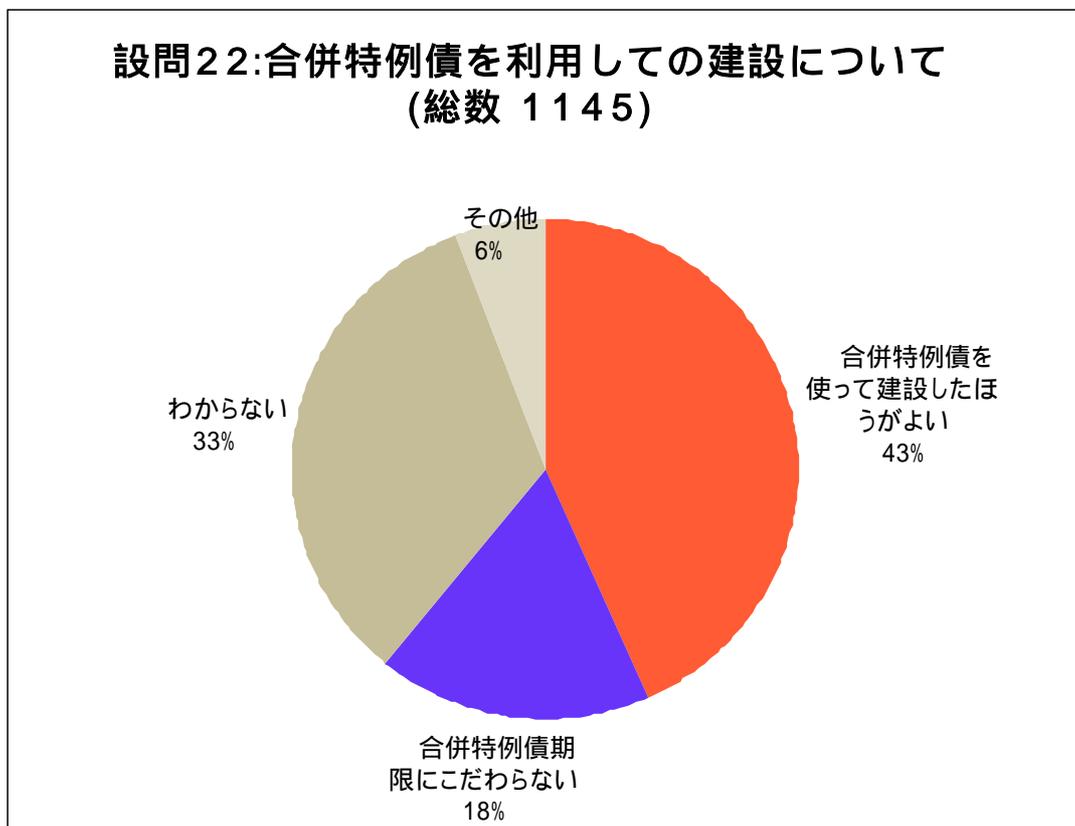


東地区の60歳以上の女性の許容できる距離を見てみると、全体傾向と余り変わりはなく、車で20分程度が一つの目安と考えられるだろう。

設問 22 . 合併特例債期間内(平成 26 年度まで)での建設について , あなたのお考えに一番近いものを以下からお選びください。

合併特例債を使って建設したほうがよい
わからない

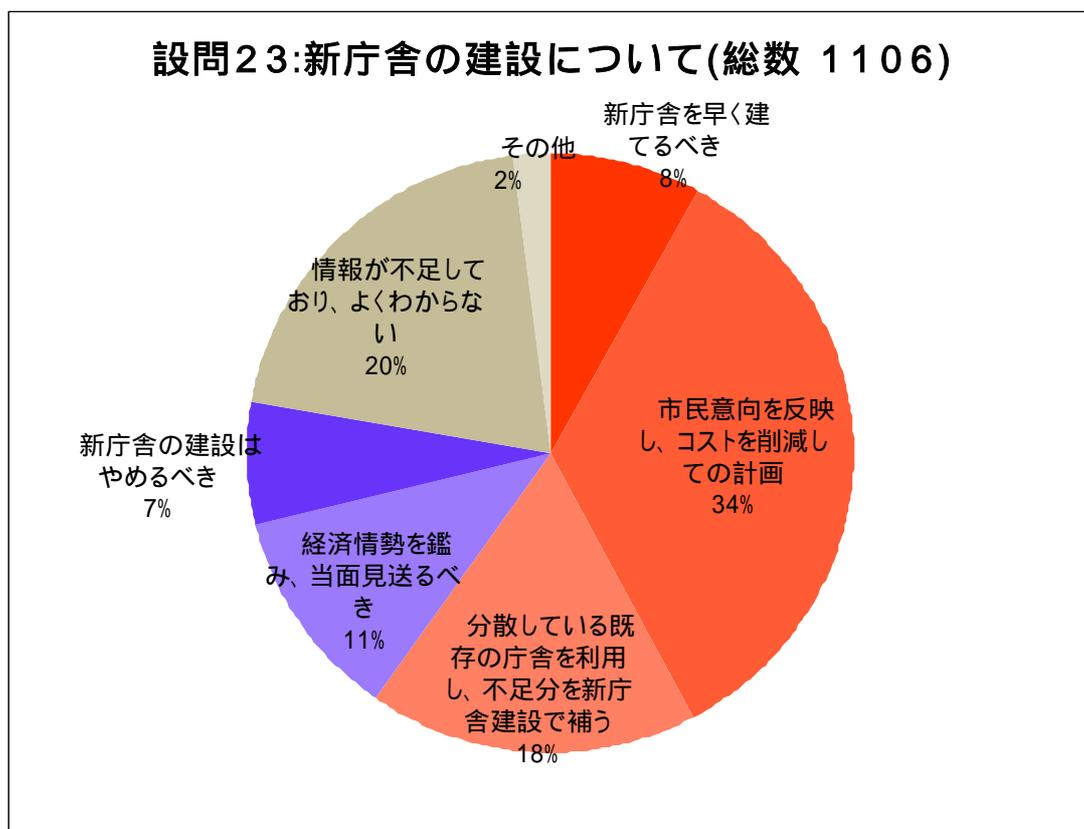
合併特例債期限にこだわらない
その他 ()



合併特例債の利用については、「合併特例債を使って建設したほうがよい」が最も多く4割を超えている一方で、「わからない」についても全体の1/3を占めている。

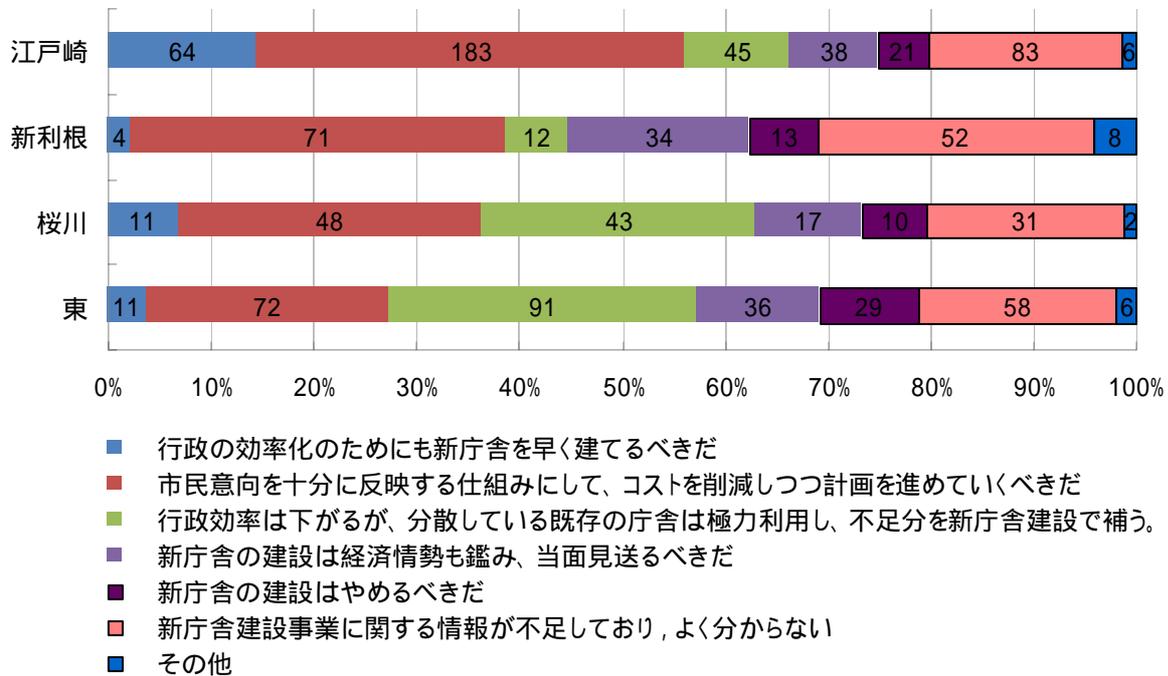
設問 23 . 新庁舎の建設には賛否両論色々あります。あなたのお考えに一番近いものは？

- 行政の効率化のためにも新庁舎を早く建てるべきだ
- 市民意向を十分に反映する仕組みにして，コストを削減しつつ計画を進めていくべきだ
- 耐震基準を満たす東分庁舎と桜川分庁舎は利用し，不足分を新庁舎建設で補う
- 新庁舎の建設は経済情勢も鑑み，当面見送るべきだ
- 新庁舎の建設はやめるべきだ
- 新庁舎建設事業に関する情報が不足しており，よくわからない
- その他



新庁舎建設については、「市民意向を反映し、コストを削減しての計画」が最も多く、全体の1/3を占めている半面、「情報が不足しており、よくわからない」も全体の2割を占め、2番目に回答の多い項目となっている。

設問 23:新庁舎の建設について×居住地(総数 1099)



地区別に見ると、江戸崎地区で「行政の効率化のためにも新庁舎を早く建てるべきだ」の割合が高いことが目を引くが、他の3地区においても「新庁舎の建設はやめるべきだ」もしくは「新庁舎の建設は経済情勢も鑑み、当面見送るべきだ」の割合は2割程度である。

また、桜川地区や東地区では「耐震基準を満たす東分庁舎と桜川分庁舎は利用し、不足分を新庁舎建設で補う」の割合が高いことが注目される。

仮に新庁舎建設を行う場合には、利用可能な分庁舎の利用方法を示すなり、庁舎として利用されなくなる分庁舎については、その方針等を市民と一緒に考えていく必要がある。

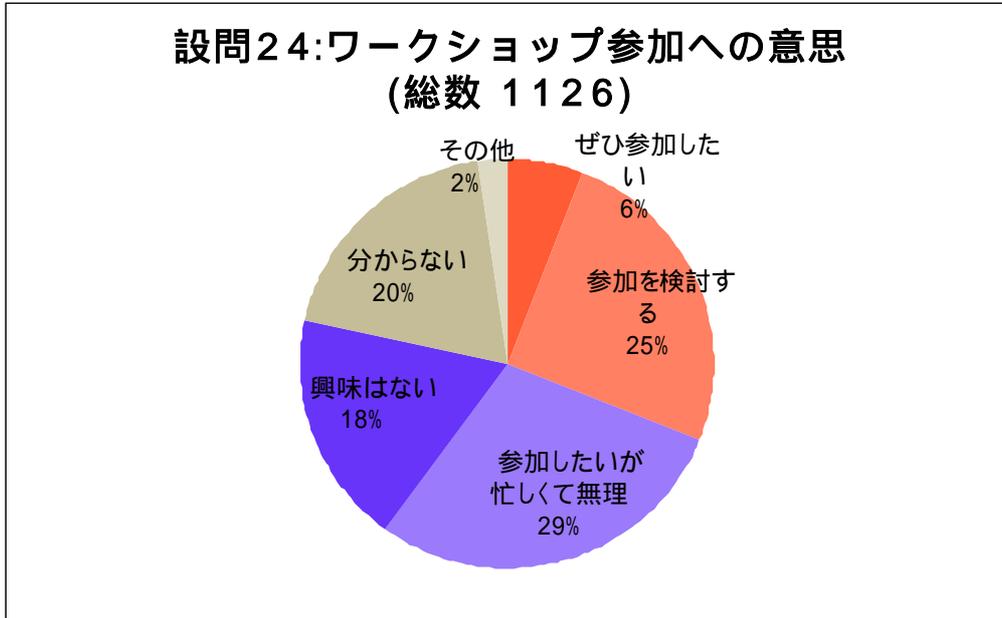
設問 24 . 新市庁舎を市民参加のもとで計画するために委員会なりワークショップを開催するならば ,

あなたは参加したいと思いますか。

ぜひ参加したい
興味はない

参加を検討する
わからない

参加したいが忙しくて無理
その他



新庁舎建設への市民参加の意思については、「参加したいが忙しくて無理・興味はない」が約 5 割を占めている反面、「ぜひ参加したい・参加を検討する」も全体の 3 割となっている。

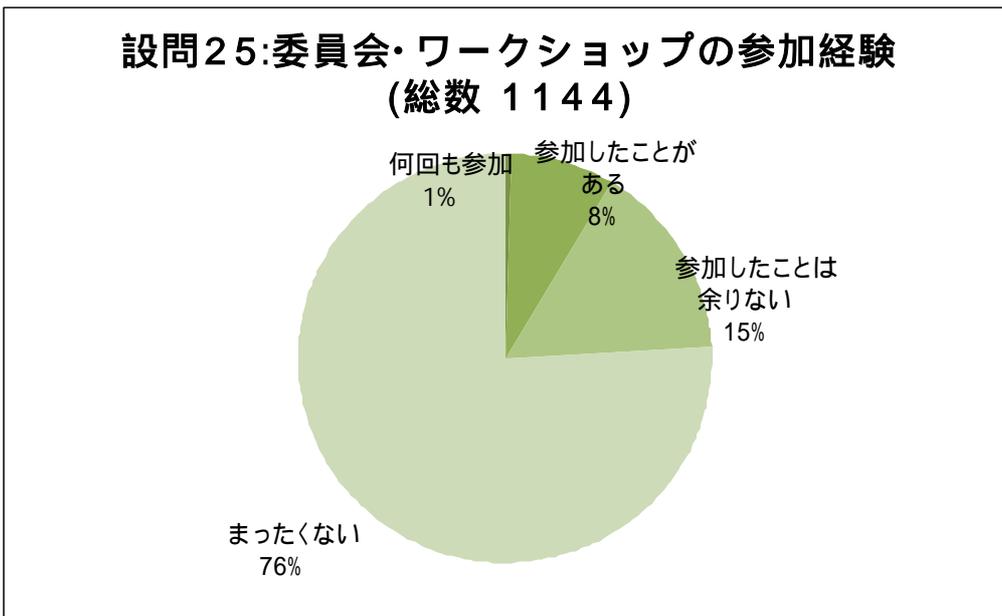
設問 25 . 今までに行政にかかわる委員会の委員になったりワークショップに参加した経験がありますか。

何回も参加した

参加したことがある

参加したことは余りない

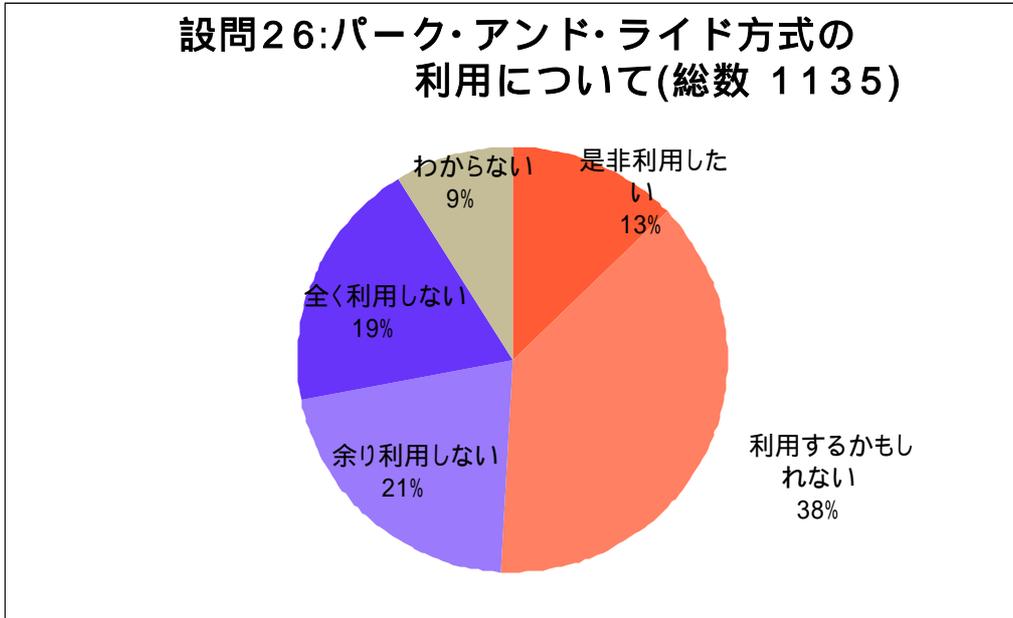
まったくない



市民参加の経験については、「まったくない」が 3 / 4 と大半を占めている。

設問 26. 新庁舎では大規模な駐車場を用意して、東京への高速バスに乗る時に車でそこまで行って駐車させることが出来るようにする計画（パーク・アンド・ライド方式）が考えられますが、あなたはご利用になりますか。

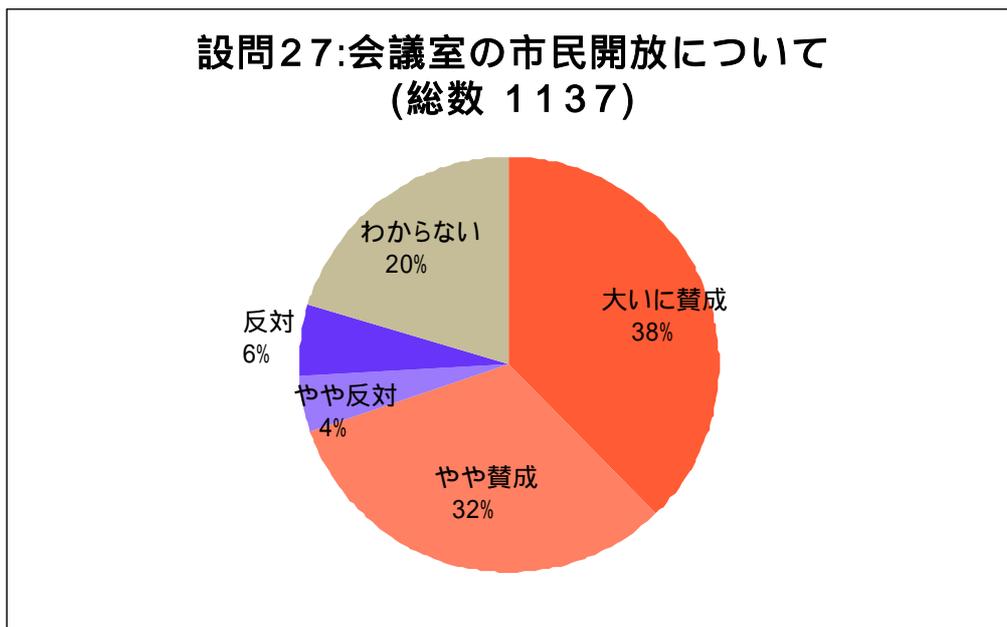
ぜひ利用したい 利用するかもしれない 余り利用しない 全く利用しない
わからない



パーク・アンド・ライド方式の利用については、「是非利用したい・利用するかもしれない」が半数を占める反面、「まったく利用しない・余り利用しない」も4割となっている。

設問 27 . 庁舎の会議室等を夜間や土日に市民に開放している自治体もあります。あなたは賛成ですか
反対ですか。

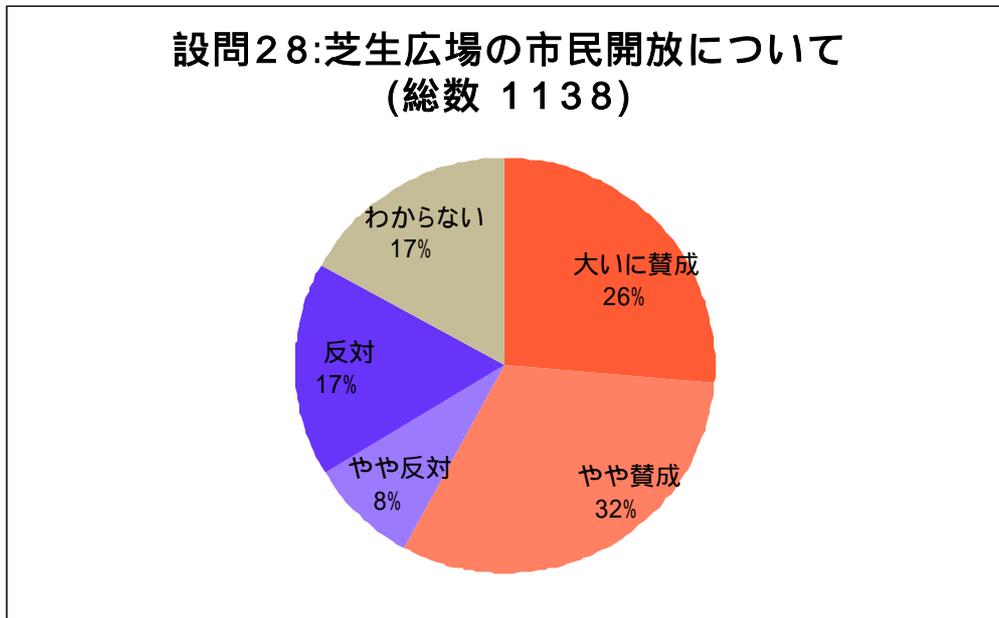
大いに賛成 やや賛成 やや反対 反対 わからない



会議室の市民開放については、「大いに賛成・やや賛成」で7割を占めている。また、「分からない」も2割の回答があった。

設問 28 . 新庁舎の前にお祭り用の芝生広場を計画することも考えられます。お祭りが無い時はグラウンドゴルフ場やゲートボール場に利用することも考えられますが、あなたは賛成ですか反対ですか。

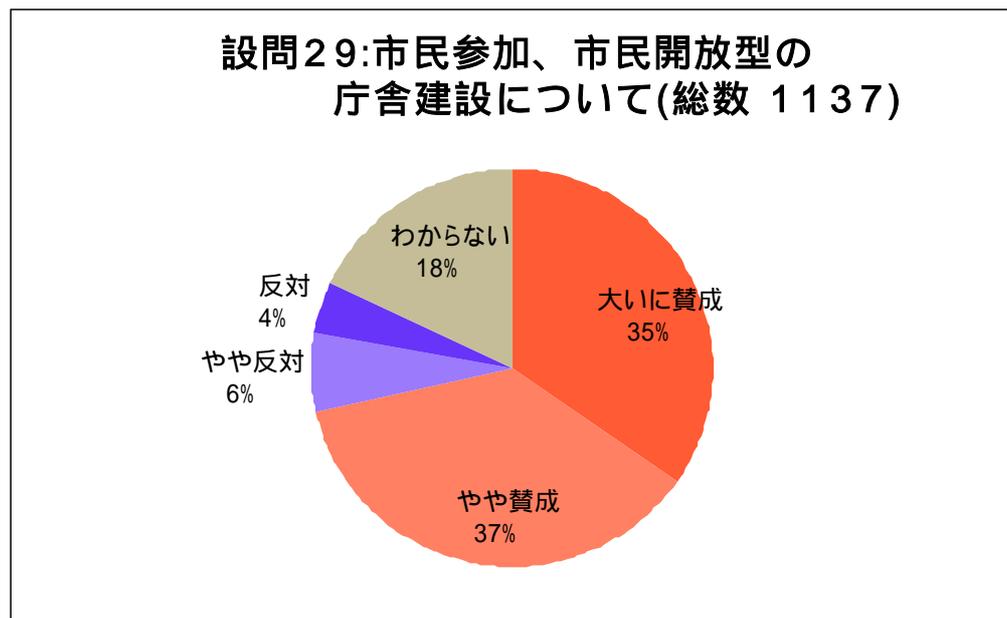
大いに賛成 やや賛成 やや反対 反対 わからない



芝生広場等の市民開放については、「大いに賛成・やや賛成」が約6割近くを占める反面、「反対・やや反対」も全体の1/4を占めている。

設問 29 . 基本計画では「市民に分かりやすく」「開かれた庁舎」「耐震性に優れ」「環境に配慮した」「社会情勢の変化に対応できるフレキシブルで長寿命な庁舎」を提唱しています。加えて、「計画への市民参加」「市民への庁舎開放」の観点を強化して建設することが考えられますがあなたのお考えをお聞かせください。

大いに賛成 やや賛成 やや反対 反対 わからない



市民参加、市民開放型の庁舎建設については、「大いに賛成・やや賛成」が全体の7割以上をしめている。また、「分からない」も2割近くを占めている。

設問 30 . 他に新庁舎に関するご意見を自由にお書きください。

フリーアンサーについては多くの市民が記入している。

それらを箇条書きに整理して、各項目についてKJ法()を使って整理したのが資料につけたフリーアンサーの結果である。

この結果については、多くの意見をいただいているが、類似した意見などもかなりあるため、代表的な意見を抜粋した形で整理したものである。

この結果を見ると、大きくは新庁舎建設に関する賛成、反対意向に分けられるが、そのほかに日常的な行政サービスに対する意見も多く書かれており、行政として耳を傾けなければならない項目も多くある。また建設賛成にしても、単純な賛成というのではなくて、いろいろな建設する場合の条件についても、多くのコメントをいただいている。

その中で、特に「コストの削減」、「アクセス性の向上」、「分庁舎の有効利用」など多義にわたっている。また、建設予定の江戸崎西高校跡地についても多くのコメントがあった。特に分庁舎と建設予定地については、東地区の市民からのコメントが特に多い。

資料については最終ページにまとめた。

KJ法：データをカードに記述し、カードをグループ毎にまとめて、図解的に整理していく方法。

5.新庁舎建設にかかわる計画等の再検証

平成 21 年 3 月から稲敷市の新市庁舎は建設のために基本設計，実施設計作業に入っていたが，4 月に実施された選挙結果や今回の市民意向調査も踏まえて，計画全般について再検証し，今後の計画に活かしていくために検討を行う。

5-1.合併時の新庁舎建設に関する考え方

平成16年9月の合併協定書，平成17年3月の合併に伴う新市建設計画においては，合併特例債が利用できる時期までに新庁舎をいずれかの場所に建設するという方向が確認されている。この時点では，統合方式にするか分庁舎も残すのかといった観点については特に言及がなく，常識的に考えれば統合方式を想定していたものと思われる。主要な点を列記すれば，以下のようである。

(1) 合併協定書(平成16年9月1日調印)における位置づけ

「合併に伴う財政支援が受けられる期間内に，新庁舎を建設するものとし，その位置については，新市において検討を行う。」としている。

(2) 新市建設計画(江戸崎町・新利根町・桜川村・東町合併新市建設計画)における位置づけ

市庁舎建設に関連する事項については，「第6章新市建設の根幹となる事業」の「効率的で活気のあるまちづくり」の項において，以下のように記述されている。

「新市の庁舎においては，当面，現町村役場を活用しますが，新市の一体性の確保，合併効果を十分に発揮した効率的な行財政を図る観点から，新庁舎の建設を進めます。建設にあたっては，市民の多様なニーズに対応するとともに，新市のシンボルの施設として整備します。」とし，行政の効率化や市民サービスの観点から庁舎を建設することを計画にあげている。

さらに，「第7章公共的施設の統合整備」では，新庁舎の建設は，「市民の多様なニーズに対応できるよう複合化を検討します。」としている。

【出典：「基本構想」】より抜粋。

5-2.総合計画における新庁舎建設に関する考え方

平成19年度に策定された総合計画においても新庁舎建設については，以下の点が強調されている。つまり，分庁舎式では行政の効率化がはかれないことから，新庁舎1箇所に分庁舎を統合し，行政の効率化を図ることが計画されている。新庁舎の建設は，行政改革の面，市民サービスの面，または，市の一体性の確保の面から，早期の整備を推進していく必要があるとしている。また，既存庁舎については，廃止も含めて有効活用を図るとしている。ただ市民の利便性についての考慮は必ずしも十分とは言えない。

「稲敷市総合計画(2007～2016)」では，「基本構想第5章施策の大綱」の「1戦略的で総合的な視点にたった着実なまちをつくろう(行財政)」 「公共施設の管理と適正配置」の項において，「本市の一体性の確保や効率的な行政運営を図るため，新庁舎の建設事業に着手します。また，既存の庁舎については，廃止も含めて有効活用を図ります。」としている。

(つづき)

また、基本計画では、「本市の庁舎は4ヵ所に分散しており、市民へのサービスや行政事務が不効率であるとともに、その維持管理においても経費がかかっています。4庁舎のうち、桜川・東庁舎の分庁舎以外は老朽化が著しく、長期的な庁舎の保有は困難な状況です。そのため、新市の速やかな一体化、市民サービスの向上、そして、経費節減のためにも新庁舎の早期建設が望まれます。」としている。
さらに、「地域情報化」の項では、「市民サービスの向上と行政事務の効率化を促進するため、電子自治体の構築を目指します。」とし、電子市役所の構築をあげている。

【出典：「基本構想」】より抜粋。

5-3. 新庁舎建設プロジェクトチーム報告書の再検証

合併協議書、新市建設計画、総合計画などを踏まえて、平成18年度庁内に新庁舎建設プロジェクトチームが結成され、新庁舎建設計画について検討が行われている。

ここでは、新庁舎建設の必要性から始まり、基本方針を踏まえて、新庁舎の建物規模、敷地の規模を算定している。この規模を前提に、建設費を算出している。また既存庁舎の耐用年数についても検討しており、その結果新庁舎の建設はもっとも遅くて平成38年（2026年）までには必要という結論を導いている。

事業工程

期 間	事業内容
事前準備	庁舎建設検討開始、庁内検討委員会設置 庁内検討、(仮称)建設計画懇話会設置準備
1年目 (H19)	基本構想・基本計画策定 (仮称)建設計画懇話会(市民の意見聴取) (仮称)建設計画審議会
2年目 (H20)	基本計画策定 基本設計
3年目 (H21)	実施設計 施工
4年目 (H22)	施工
5年目 (H23)	施工・開庁

【出典：「稲敷市新庁舎建設プロジェクトチーム報告書(第2版)」P11】より抜粋。

建設費用の検討も行っており、合併特例債の利用が合併後10年（平成27年＝2015年）という期限があることから、「合併特例債の期限内に建設する方が14億から19億円の経費削減になる。」と結論付けている。また具体的に新庁舎建設のプロセスについては、計画自体はオーバーラップしながら、平成19年度に基本構想・基本計画の策定、20年度に基本計画の策定と基本設計の完了、21年度に実施設計の完了、平成22年度、23年度で施工するという最短のプログラムを提案している。

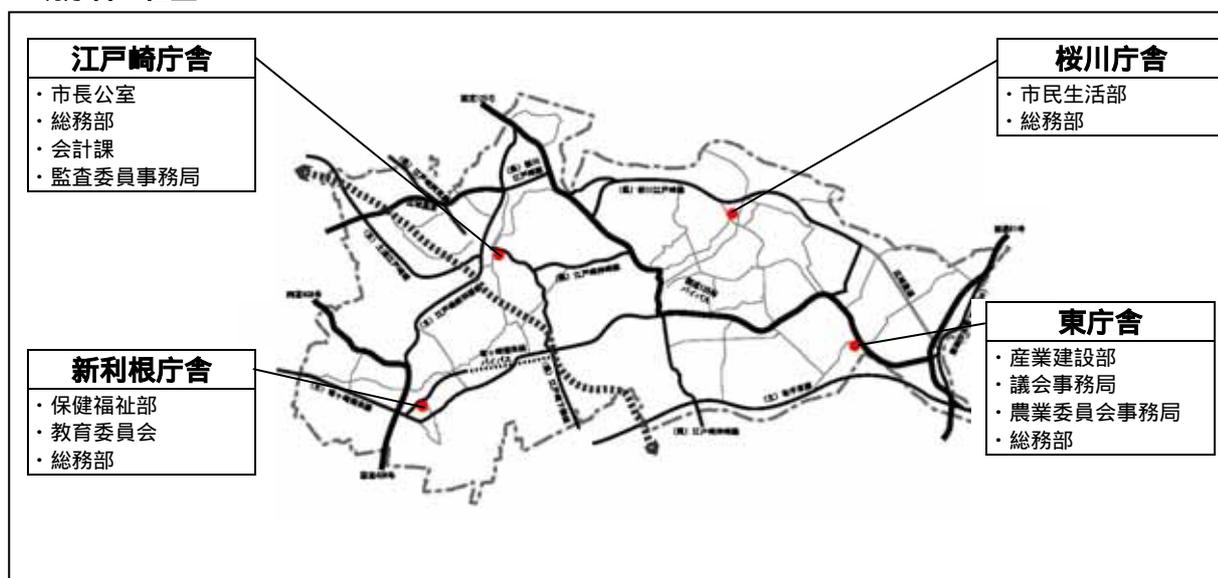
5-4．基本構想の再検証

平成18年度の庁内プロジェクトチームの検討を踏まえて、平成19年度に基本構想の策定を行っている。この計画作成のために、市民参加の懇話会、議員を交えた審議会、庁内の検討委員会といった3つの検討委員会での検討を踏まえながらまとめられたものである。

5-4-1. 分庁方式の問題点

本構想でははじめに現況の分庁方式の問題点を指摘し、市民サービスの低下を指摘している。また現況の分庁舎の耐震改修費用と大規模改修費用を19億円と算出している。そして、早急に1センター方式の新庁舎の建設が必要だと結論付けている。ただ耐震性もあり、大規模改修の必要性が低い東庁舎の分庁舎、桜川庁舎の分庁舎の利活用については特に言及がなく、やや統合方式の新庁舎の建設という結論ありきの感もある。

現庁舎の位置



【出典：「基本構想」P1-1】より抜粋。

5-4-2. 新市庁舎の規模算定

その後新庁舎の計画の基本方針を決め、新庁舎の規模算定を行っている。
その結果、

想定人口及び想定職員数を平成27年（2015年）を基準として庁舎面積を算定する。

（2）将来の人口と将来職員数の推計

稲敷市合併時における市の総職員数は525人。平成19年現在の総職員数は485人（庁舎勤務職員数349人）であるが、稲敷市総合計画基礎資料の将来人口推計によると、今後人口減少傾向が進むと予想されており、これらを考慮し平成27年の総職員数を424人（庁舎勤務職員数312人）と想定している。

【出典：「基本構想」P4-1】より抜粋。

つまり合併時の職員数に対して10年後は約2割減を前提に規模算定を行っている点は注目する必要がある。

(3) 議員数

市議会の議員数は「稲敷市議会議員の定数を定める条例」に定める22人とする。

(4) 行政組織

新庁舎への配置が望まれる組織構成は現状どおりとして、将来人口に対応する新庁舎の行政組織は、部数：7部、課数：28課と想定する。

(5) 新庁舎の機能構成

新庁舎は行政業務の場であるとともに市民交流の場としての役割を期待し、行政事務所として当然必要である基本機能（執務機能、議会機能）、支援機能（管理機能、共用機能）の他に、特別機能（対外機能、市民開放機能、市行政関連業務機能）により構成することとする。

【出典：「基本構想」P4-1より抜粋。

としている。

5-4-3. 新市庁舎の延べ床算定

また、新庁舎の延べ床面積の算定は3方式で計算し、結果として

以上の算定比較により、庁舎面積は(最小)8,100㎡～(最大)11,300㎡の中間値である9,700㎡程度を適正規模とする(自動車車庫等は除く)。

職員1人当たりの庁舎面積を31.09㎡と想定する。

【出典：「基本構想」P4-8より抜粋。

この数字については統合方式ならば順当であると思われる。

5-4-4. 敷地面積の算定

次に敷地面積の規模算定を行い、庁舎面積を9700㎡とし、3階建てを想定し、そのほか公用車100台分の駐車場、来庁者用150台、職員+議員用350台合計600台分の駐車場、外構・緑地面積を全体の8%として全体で2万㎡を最小敷地面積と算定している。しかしこの面積だけでは将来の変更・発展性がないということで3万㎡程度の敷地を適正としている。この数字についても統合方式ならば順当な数字と思われる。

敷地規模の算定(整形敷地の場合の、最小規模を示す)

項目	算定基準	面積(m ²)
新庁舎建築面積	3層程度の建物と想定	3,250
公用車駐車場建築面積	台数 × 25.0m ²	2,500
駐車場面積	台数 × 25.0m ²	12,500
外構・緑地等	敷地全体の8%程度	1,750
合計		20,000

【出典:「基本構想」P4-9】より抜粋。

5-4-5.用地取得費の算定

次に事業費の試算を行っている。用地の取得については、一番単価の高い民地の畑で算定をしており、3億7千万円程度としている。敷地について特に前提がないことから、事業規模としては大きくとっておこうという意図があったものと思われる。

用地取得費の検討

項目	算定基準	取得費(千円)
田	9,000円/m ² × 30,000m ²	270,000
山林	10,000円/m ² × 30,000m ²	300,000
畑	12,500円/m ² × 30,000m ²	375,000

【出典:「基本構想」P4-10】より抜粋。

5-4-6.建設事業費の算定

次に建設事業費であるが、建物建設費の単価が40万円/m²、公用車庫の建設費の単価が16万円/m²、屋外駐車場の建設単価が2万5千円/m²、外構・緑地整備単価が3万円/m²は順当な単価であり、各項目の規模算定から、建設事業費は46億円と計算している。それに用地取得費、消費税も含めると52億7千万円と結論付けている。

概算事業費(設計業務概算を除く)

概要		建設費概要		
		規模・数量	単価	計
用地取得費		30,000m ²	12,500円/m ²	375,000,000円
建設 工事 費 概 算	庁舎延床面積	9,700.0m ²	400,000円/m ²	3,880,000,000円
	公用車庫	2,500.0m ²	160,000円/m ²	400,000,000円
	屋外駐車場	12,500.0m ²	25,000円/m ²	312,500,000円
	外構・緑地	1,750.0m ²	30,000円/m ²	52,500,000円
	工事費計			4,645,000,000円
小計				5,020,000,000円
合計(消費税含)				5,271,000,000円

【出典:「基本構想」P4-10の表】より抜粋。

5-4-7.事業費の財政的なチェック

全体で52億7千万円の事業費であるがそれに対して財政的な裏づけがあるかどうかチェックを行っている。それによれば、以下のようになり特段問題ないとしている。

4) 新庁舎建設を含めた今後の財政状況

合併特例債を活用して庁舎を建設する場合、年間の返済額は概ね1億6千万円となる。
新庁舎を建設した場合、1年間で以下の経費が削減できると推計される。

維持管理費の削減額 約3,300万円

9,500万円 - 6,200万円

4庁舎の維持管理費の合計(平成18年度実績) - 新庁舎の維持管理費の想定

大規模修繕費 約1億2,800万円

19億2,000万円 ÷ 15年間

耐震改修・大規模改修費の合計 ÷ 耐用年数

* 現庁舎は、老朽化が進んでおり、今後使い続けていくためには、耐震改修や大規模な改修が必要となる。

庁舎間の移動経費 約1,600万円

700万円 + 900万円

公用車維持管理費(車両代含む) + 庁舎間移動にかかる人件費

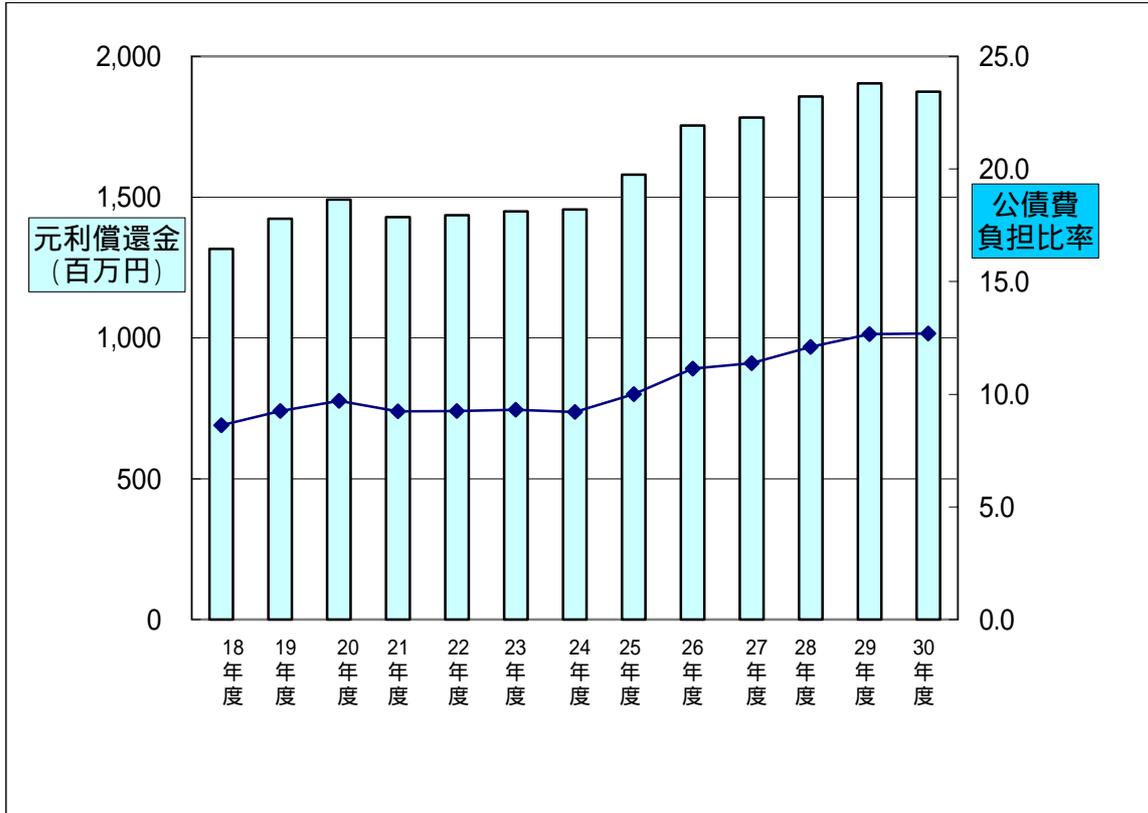
これらを比較すると、経費の削減額は返済額を上回り、さらに、合併特例債の元利償還金には交付税措置(元利償還金の70%)があるため、特例債の活用は財政面で有利となる。

自治体の借金である市債の状況を把握するための指標として、公債費負担比率が用いられる。公債費負担比率は市債の元利償還に充てられた一般財源の一般財源総額に対する割合を示す指標であり、財政構造の弾力性を判断するものである。一般的に15%以上で警戒ライン、20%以上で危険ラインとされている。

稲敷市の場合、新庁舎建設による市債約20億円を含め、公債費負担比率を推計すると次表のようになる。償還額のピークは平成29年度となるが、合併特例による交付税の削減額を考慮しても、警戒ラインである15%以下を推移するものと予想され、適正な水準となっている。

【出典:「基本構想」P4-11】より抜粋。

元利償還金と公債費負担比率の今後の推移



[出典:「基本構想」P4-12]より抜粋。

5-5. 基本計画の再検証

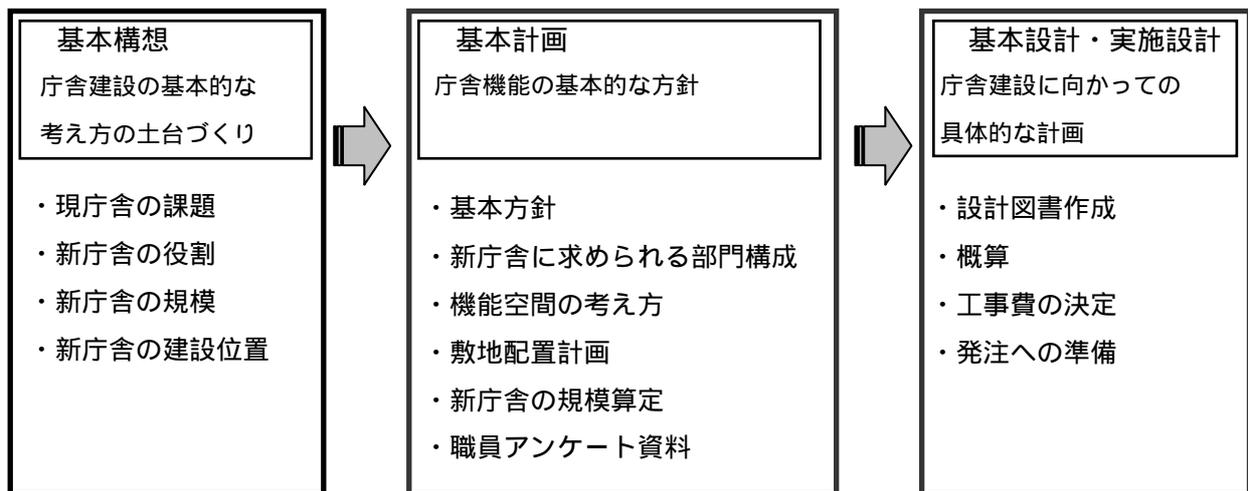
基本計画では、設計の基本的な考え方を整理し、想定される敷地に想定される統合庁舎機能を入れていろいろな諸機能が収まるかどうかを検査している。ここでは特にいくつかの項目について再検証を行った。

5-5-1. 基本計画立案の目的と位置づけ

基本計画立案の目的は以下のように述べられている。またその位置づけは、基本構想は基本的な考え方と、敷地規模、事業費規模、敷地の検討が中心であった。基本計画では、敷地全体の配置計画、内部空間の機能のあり方などをより具体的に検討し、基本設計・実施設計に結び付けていくものである。

より具体的な事案や条件の検討を行い、稲敷市が目指す庁舎のあり方や、今後の「基本設計」「実施設計」に活かす具体的な方針を示すものである。

【出典：「基本計画」P1】より抜粋。



【出典：「基本計画」P1】より抜粋。

5-5-2. 防災拠点としての市庁舎

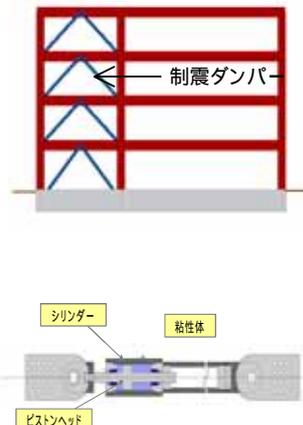
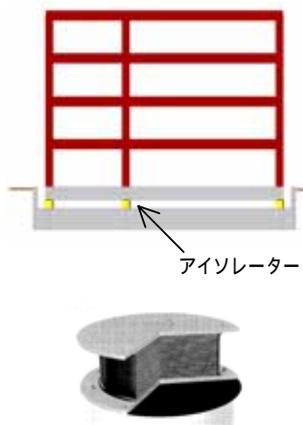
防災拠点として市庁舎を利用することから、耐震性が十分あることが求められる。本基本計画では3つの方式を比較しているが、具体的にこの方式が好ましいという結論は出していない。特にコスト的にどの方式が有利なのか検討する必要があるだろう。耐震基準関連の検討もされており、分庁舎で利用可能なものは東庁舎の分庁舎、桜川庁舎の分庁舎としており適切である。

防災拠点としての耐震性能を高める

- ・ 耐震構造，制震構造，または免震構造の検討を行い，耐震性能を高めた施設とする。
- ・ 災害時において，真っ先に市民の救助と災害への対策，復興に迅速な指示を発揮できるように庁舎を含め災害対策本部への被害を最小限に抑える施設として計画する。

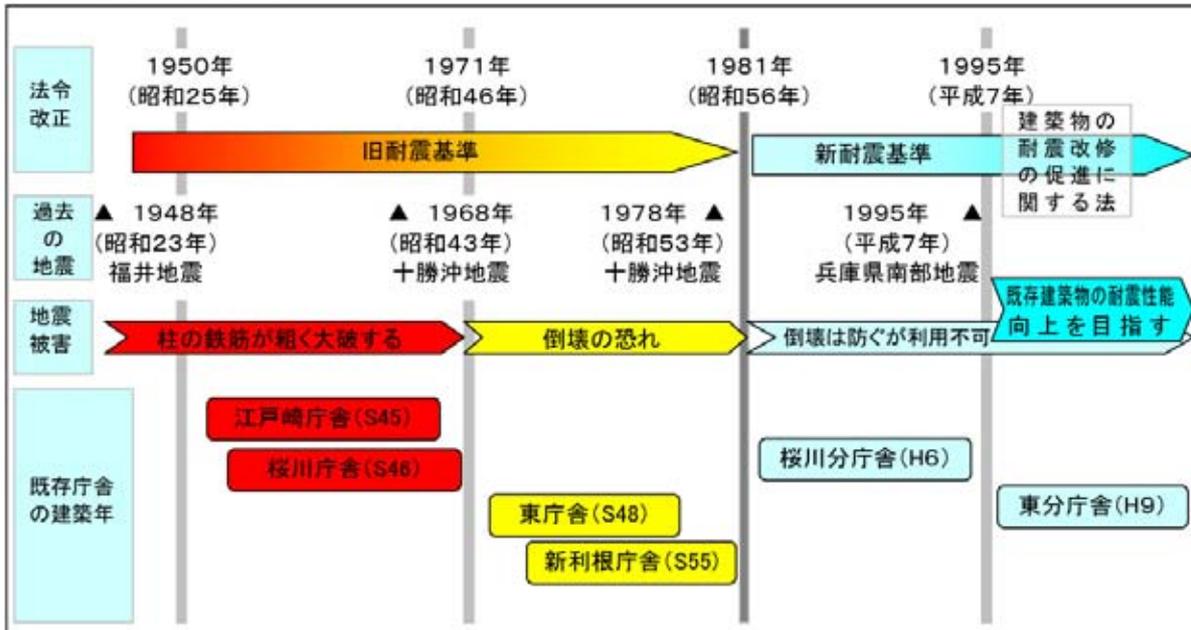
【出典：「基本計画」P8】より抜粋。

構造形式

	耐震構造 (重要度係数1.5)	制震構造	免震構造
概要	柱、梁などの構造部材が塑性化することにより地震エネルギーを吸収する。	主として制震ダンパーが地震エネルギーを吸収することにより、柱、梁など構造部材の損傷を抑える。	建物と基礎の間に積層ゴムなどのアイソレーターを設けることにより、建物への地震エネルギーの入力を低減する。
断面イメージ			
		制震ダンパーの例(粘性系ダンパー)	免震アイソレーターの例(積層ゴム)

【出典:「基本計画」P8より抜粋。

耐震基準と現庁舎の関係



【出典:「基本構想」P7-3より抜粋。

5-5-3. 新庁舎の部門・部署の配置

基本構想では統合庁舎を基本とし、東地区に支所機能を持たせることが提示されていた。本市民アンケートによれば、東地区に多少分庁舎機能を持たせることが検討されるべきかもしれない。1階に配置すべき部門・部署としては適切だと思われる。分庁舎方式の場合、東庁舎を利用するならば、おむね車で20分以内でアクセスできるものと思われる。

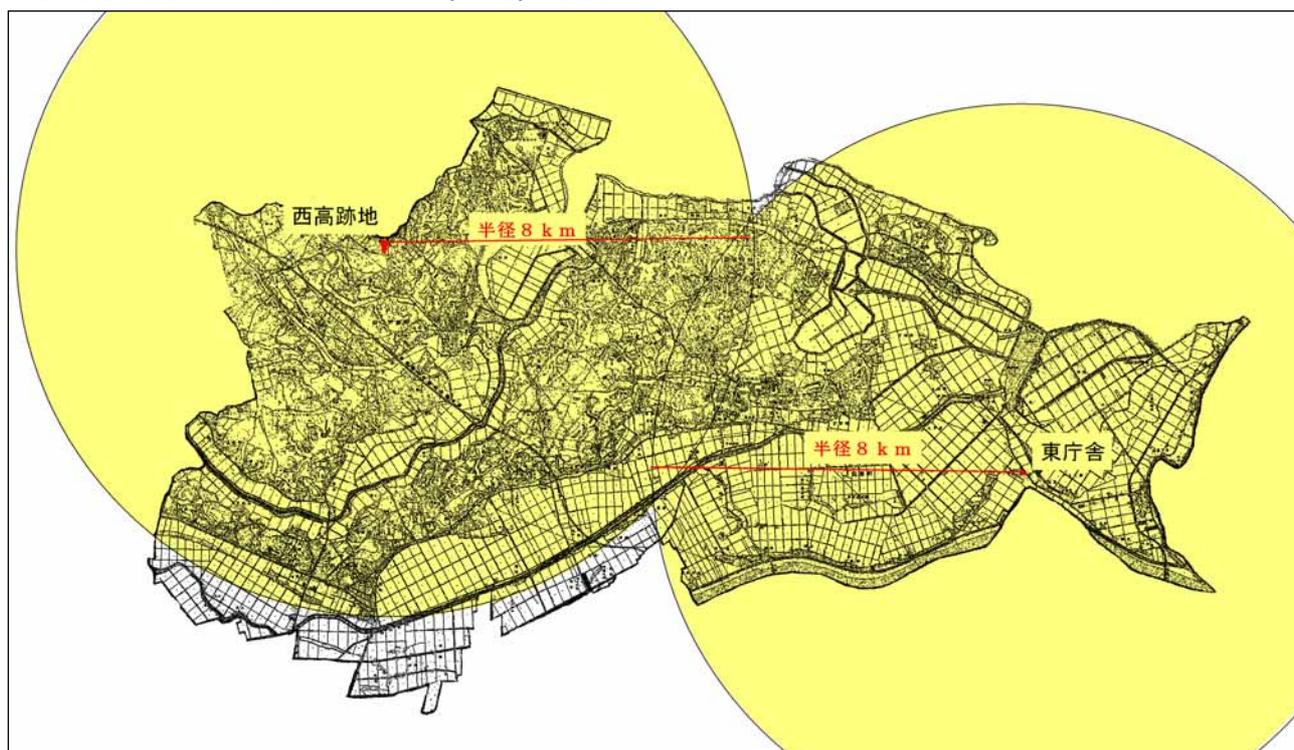
部門・部署配置

1階に配置		他の階に配置		
部門(部)	部署(局・課)	部門(部)	部署(局・課)	
総務部	総合窓口課	市長公室	秘書広聴課, 企画課	
		総務部	総務課, 財政課, 管財課	
市民生活部	市民課, 税務課	保健福祉部	健康増進課	
	保険課, 生活環境課		産業建設部	農政課, 商工観光課, 建設課 道路維持課, 都市計画課, 下水道課
保健福祉部	高齢福祉課	教育委員会	教育総務課, 学校教育課, 生涯学習課	
	児童福祉課		議会	議会事務局
	社会福祉課			農業委員会
会計	会計課	監査委員	監査委員事務局	
水道事業	水道局			

部門・部署名や配置は現時点での想定であり、将来的な組織変更により変更があります。

【出典:「基本計画」P16】より抜粋。

参考: 西高跡地及び東庁舎から8km(20分)の範囲



5-5-4.新市庁舎の規模算定

基本構想では、新庁舎の延べ床面積を、職員数や他都市との比較、職員へのアンケート調査結果等を踏まえて9,700㎡としている。それに対して、基本計画では各諸室の必要面積を積み上げて行き、必要床面積の算定を行っている。その結果、床面積としては9,950㎡としているが、そのほかに公用車100台分の車庫2,500㎡を取りやめ、新庁舎建物内に20台分の屋内駐車場設置案に変更し、750㎡として、合計10,700㎡と算定している。積み上げでの算定であり、特に問題はないが、経費節減を考えるならば、屋内駐車場を最低限にすることも考えられるだろう。

新庁舎の規模算定

単位:㎡

機能	主なスペース	基本計画 (単位空間積み上げ)
事務室関係	執務スペース等	2,540.00
特別職関係	市長室, 副市長室, 応接室等	300.00
会議室関係	会議室, 庁議室, 相談室等	860.00
議会関係	議場, 委員会室, 議員控室等	780.00
その他諸室	更衣室, 休養室, 書庫, 防災用備蓄倉庫, O A管理室等	1,490.00
共用スペース	廊下, 階段, エレベーター, トイレ, 機械室, 市民ロビー等	3,980.00
小 計		9,950.00
駐 車 場		750.00
合 計		10,700.00

【出典:「基本計画」P29】より抜粋。

5-5-5.事業費の算定

(1) 敷地規模の設定

敷地規模

項 目	概 要	面積
庁舎(本体)	建築面積(地上5階, 地下1階程度)	3,900㎡
外 構	来庁者駐車場	3,750㎡
	職員用駐車場, 公用車用駐車場	11,000㎡
	車路等	3,300㎡
	屋外広場等	3,200㎡
	その他外構(法面, 緑地 他)	25,022.91㎡
	小計	50,172.91㎡

上記面積は、モデルプランで想定した概算面積を示す。

【出典:「基本計画」P30表】より抜粋。

(2) 新庁舎建設の概算事業費

新庁舎，外構整備を想定した結果，建設工事費は約 4 5 億円となる。

概算事業費(設計業務概算を除く)

概要	計(円)
庁舎本体工事	3,766,000,000
外構工事	204,000,000
その他工事	315,000,000
工事費計	4,285,000,000
合計(消費税含)	4,499,250,000

その他工事は，家具，LAN設置工事を含む。

【出典：「基本計画」P30】より抜粋。

本構想では事業費の算定をして 46 億円としている。基本計画では，モデルプランを前提により精緻に事業を算定している。その結果，45 億円と算出している。この内容についてはさらによく精査して，経費節減の可能性がないのか検討する必要がある。

6. 諸計画再検討

今回の市民意向調査を踏まえるならば、市民の意向は以下のように整理できる。

事業費の削減

財政的な借金を極力しないような計画にすべきだ。

既存の施設の有効利用

現在ある4つの分庁舎を有効活用するなり、江戸崎西高校跡地にある校舎の再利用を検討すべきである。

行政の効率化とともに市民への利便性の確保

統合庁舎にすることにより行政の効率化が図られるが、他方市民にとって利便性が確保できているのかやや疑問な点もないではない。限られた税収の中で高齢化社会も見据えた対応が必要である。

住民の意向を十分に取り入れた計画

基本構想や基本計画の立案においても、公募の市民が委員として参加したり、タウンミーティングの実施、広報による市民への情報提供を行うなど市民参加が試みられているが、さらにより広範囲な市民参加が求められている。

そこで、これらの市民意向を踏まえるならば、基本構想、基本計画の中で、方針の転換を検討すべき項目について列挙する。

6-1. 事業費の削減と既存施設の有効利用

事業費を具体的にいくらまで落とせるかは、基本設計段階で検討すべき内容かと思われるが、目標としては45億円を40億円程度にすることが考えられよう。

統合新庁舎方式ではなくて、東庁舎に一定の分庁舎機能を残し、それに伴い新庁舎の床面積を削減して事業費を削減する。

建物の構造を検討し、建設費の削減を図る。

室内公用車駐車を必要最低限のものにする。

江戸崎西高校跡地の中で再利用が可能な建物施設については極力再利用する。

桜川庁舎で利用できる施設については、その有効利用の方法について早急に検討を行う。

6-2. 市民の利便性の確保

高齢化社会を前提にし、市民の多くが自分の車で移動できない社会も見据えておく必要がある。現在の分庁舎を部分的に残すなり、福祉バスシステムの導入などを検討する必要があるだろう。

6-3. 計画への市民参加

計画への市民参加としては、今回の市民意向調査の実施自体も市民参加の一環と考えられよう。またこの意向調査の結果についても、単に広報で市民に情報提供するだけでなく、行政としてワークショップなどを開いて、議論をしながら吟味していく姿勢が必要であろう。特に、新庁舎が建設されるのと、その有効利用やメンテナンスに市民の参加は不可欠であり、その点も考慮して、基本計画や実施計画の必要な時点において市民参加の場面を作っていく必要があるだろう。

6-4. 検討すべき変更点についての列挙

検討すべき変更点について、以下に列挙する。

統合庁舎方式にするのか、分庁舎方式を一部取り入れるのか。

敷地は江戸崎西高校跡地でよいか。

建物規模は適正か。

建物構造は適正か。

敷地の利用形態は適正か。

事業費をどこまで削減するか。

基本設計・実施設計を委託先はプロポーザルコンペで決定したが、そのプロポーザルコンペの設計条件が大きく変わるとすると、プロポーザルコンペを再度実施すべきか。

既存の分庁舎を有効活用が出来そうか。

旧江戸崎西高校の施設の中で再利用できるものはないか。

資料1 稲敷市新庁舎建設に関する市民意向調査（アンケート票）

稲敷市新庁舎建設に関する市民意向調査

市長からのご挨拶とお願い

稲敷市長 田口 久克

日頃より市政運営にご協力頂きましてありがとうございます。さて本市も4町村が合併して以来新庁舎の建設が長年の懸案でありました。「新庁舎」を建設するには市民の皆様のご意向を的確に把握し、計画に反映していく必要があります。そこで今回、県のまちづくりアドバイザーでもある筑波大学の小場瀬令二教授に市民意向調査を依頼して、公平で客観的な市民の皆様の意向を把握することとしました。何かとお忙しいこととは存じますが、新庁舎の建設は皆様自身にとってもまた孫末代にわたっても非常に重要な事業のひとつであります。忌憚のないご意見をいただけたら幸いです。

記入上の注意

1. 本アンケートは市内に居住されている16歳以上の方を対象に地域・男女・年齢を勘案して6月1日現在の住民登録より約2000名の抽出を行いアンケートを依頼しております。アンケートはご本人がご回答ください。ご本人がご不在等で記入不可能な場合は、その趣旨をお書きになり返信用封筒でご返送ください。
2. アンケートの回答は7月12日(日)までに切手の貼ってある同封の封筒を使って郵送してください。
3. 回答は匿名でかまいません。また集計分析して結果を発表します。個人情報については十分注意しますので、ご自由にご記入ください。
4. アンケートは全部で8頁あります。設問に対して回答欄の数字に○印をつけるか、自由記入して頂いても構いません。
5. この件に関する照会は以下にお願いします。

筑波大学社会システム工学専攻 小場瀬研究室 電話/fax 兼用 029-853-5551

e-mail obaselab@yahoo.co.jp (平成21年7月1日から8月10日まで有効)

合併した本市は平成19年度に「新庁舎建設基本構想」を立案し、平成20年度には「新庁舎建設基本計画」を練り上げ、平成20年度末に設計事務所をプロポーザル方式(各設計事務所の技術力や提案力を総合的に評価して担当する設計事務所を選定する方法)で選定し、平成21年度から本格的な設計に取り掛かる予定でありましたが、現在業務の一時中断をしているところです。

はじめにあなた自身のことについてお伺いします。

設問1. 性別は

- ①男 ②女

設問2. 年齢は

- ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60歳以上

設問3. 職業は以下の分類です。どれに当てはまりますか。

- ①農林水産業 ②自営業 ③会社員 ④公務員 ⑤学生 ⑥専業主婦
⑦パート・アルバイト ⑧無職 ⑨その他 ()

設問4. お住まいはどちらでしょうか。大字名までお書きください。

- ①江戸崎地区 () ②新利根地区 ()
③桜川地区 () ④東地区 ()

設問5. 現住所に居住して何年目ですか。

- ①1年未満 ②1～5年未満 ③5～10年未満 ④10～20年未満 ⑤20年以上

設問6. 市役所に行く頻度はどの程度ですか。(下線部分に数字を入れてください)

- ①週____回程度 ②月____回程度 ③年____回程度 ④行ったことがない

設問7. どの庁舎に一番よく行かれますか。

- ①江戸崎庁舎 ②新利根庁舎 ④桜川庁舎 ⑤東庁舎 ⑥特に決まっていない

4頁の設問13へ

設問8. あなたは庁舎を訪れる際、一番よく利用する交通手段は何になりますか。

- ①自家用車・社用車 ②タクシー ③オートバイ ④自転車
⑤バス ⑥徒歩 ⑦その他 ()

設問9. あなたがよく行く庁舎に行くのにかかる時間はおよそ何分ですか。()分程度

設問 10. どのような用件で市役所を訪れましたか。(該当するものすべてに○)

- | | |
|------------------|------------------------|
| ①戸籍、住民票、印鑑証明等のこと | ②国民健康保険・国民年金のこと |
| ③税金のこと | ④建築確認申請や都市計画、道路、下水道のこと |
| ⑤福祉のこと（介護・保育園等） | ⑥教育のこと（学校、教育相談、幼稚園等） |
| ⑦農業に関すること | ⑧パスポート申請のこと |
| ⑨議会の傍聴 | ⑩調査など仕事 |
| ⑪自治会や地域のこと | ⑫会議・打合せ |
| ⑬その他（具体的に | ） |

設問 11. あなたがよく行く市役所に現在使っている交通手段で行く時の便利さはどうでしょうか。

- ①大変便利 ②便利さに特に問題はない ③やや不便 ④不便 ⑤わからない

設問 12. 庁舎が4つに分かれていて不便を感じたことがありますか。

- ①非常にある ②時々ある ③余りない ④全然ない ⑤なんとも言えない
⑥その他（

これまで新庁舎建設計画は以下の経緯で進められてきました。

それについてどの程度ご存知かお伺いします。

○業務の効率化：4つの町村が合併の際市役所業務の合理化が求められました。

○分庁舎方式の非効率性：しかし現況のように福祉、税務、建設等が別の庁舎に分かれている分庁方式だと、なかなか業務の効率化が進まない状況です。

○新市建設計画で位置付け：合併の際立案された新市建設計画の中では新庁舎の建設がうたわれています。

○耐震補強と大規模修繕：また現在の各庁舎の建物については新耐震設計に対応しているものも少なく、老朽化が進み大規模な修繕が必要となります。そこで「新庁舎建設基本構想」の中で既存庁舎の耐震補強と大規模修繕も検討され、19億円ほど経費がかかると試算がされています。

○建設予算：基本計画では、新庁舎の建設には45億円が予定され、そのうち25億円は以前からの積み立て金。残りの20億円は新市建設に伴う合併特例債で対応する計画です。

○建設予定地：予定地の選定にあたり、「市の真ん中」「人口の中心」「市、県の土地」「圏央道インターチェンジ付近」といった観点から7つの候補地が検討され、道路、水道、下水道、路線バス、利便性、コスト面、法的規制等について評価した結果、江戸崎西高等学校跡地が選ばれました。

設問 13. 「合併に伴う財政支援が受けられる期間内に、新庁舎を建設するものとし、その位置については、新市において検討する」としています。このことをご存知でしたか。

- ①知っていた ②聞いたことはある ③余り知らない ④全然知らない ⑤興味がない

設問 14. 合併の際、立案された「新市建設計画」の中で新庁舎の建設がうたわれています。このことについて伺います。

- ①知っていた ②聞いたことはある ③余り知らない ④全然知らない ⑤興味がない

設問 15. 現況のように福祉、税務、建設等が別の庁舎に分かれている分庁方式だと、なかなか業務の効率化や市民の利便性向上が進まず非効率とされています。このことについて伺います。

- ①その通りである ②ややそう思う ③余りそう思わない ④全然思わない ⑤興味がない

設問 16. 合併する際、市役所業務の合理化が求められました。このことについて伺います。

- ①効率化・合理化が必要
②市民の利便性が第一
③業務の合理化と市民の利便性のバランスがとれた効率化を進めるべき
④興味がない
⑤その他 ()

設問 17. 現在の各庁舎の建物については新耐震基準に対応しているものも少なく、老朽化が進み大規模な修繕が必要となっております。そこで「新庁舎建設基本構想」の中で検討され、耐震補強と大規模修繕に約 19 億円程度の工事費がかかるとされております。既存庁舎の耐震補強を行い使用したとしてもコンクリートの経年劣化による耐用年数（築後 47 年）には建替え等を実施しなければなりません。稲敷市の場合、ほとんどの庁舎が 15 年後ぐらいには耐用年数を向かえるため、新庁舎を建設したほうがかなりの経費が節減できるという試算がされています。このことについて伺います。

- ①知っていた ②聞いたことはある ③余り知らない ④全然知らない ⑤興味がない

設問 18. 「新庁舎建設基本計画」では、新庁舎の建設には 45 億円が予定され、そのうち 25 億円は以前からの積み立て金、残りの 20 億円は新市建設に伴う合併特例債[※]で対応する計画になっています。このことについて伺います。

- ①知っていた ②聞いたことはある ③余り知らない ④全然知らない ⑤わからない

※ 合併特例債：合併してから 10 年間（平成 17 年度年から平成 26 年度）に借りることの出来る資金で返済額の約 7 割が普通交付税に算入され、市にとっては有利な資金となっています。

設問 19. 建設予定地の選定にあたり、「市の真ん中」「人口の中心」「市、県の土地」「圏央道インターチェンジ付近」といった観点から 7 つの候補地が検討され、道路、水道、下水道、路線バス、利便性、コスト面、法的規制等について評価した結果、江戸崎西高等学校跡地が選ばれました。このことについて伺います。

- ①知っていた ②聞いたことはある ③余り知らない ④全然知らない ⑤興味がない

設問 20. 江戸崎西高校跡地に新庁舎がまとめられると、あなたにとって不便さは？

- ①非常に不便になる ②多少不便になる ③余り変わらない ④便利になる ⑤わからない

設問 21. 自宅から庁舎までの距離はどれぐらいが不便を感じずに訪れることができますか。

- ①徒歩で行ける距離 ②自転車で 20 分以内 ③車で 5 分以内 ④車で 15 分以内
⑤車で 30 分以内 ⑥特に距離は気にならない ⑦その他（ ）

設問 22. 合併特例債期間内(平成 26 年度まで)[※]での建設について、あなたのお考えに一番近いものを以下からお選びください。

- ①合併特例債を使って建設したほうがよい ②合併特例債期限にこだわらない
③わからない ④その他（ ）

新庁舎建設の賛否や、計画への住民参加についてお伺いします

設問 23. 新庁舎の建設には賛否両論色々あります。あなたのお考えに一番近いものは？

- ①行政の効率化のためにも新庁舎を早く建てるべきだ
- ②市民意向を十分に反映する仕組みにして、コストを削減しつつ計画を進めていくべきだ
- ③耐震基準を満たす東分庁舎と桜川分庁舎は利用し、不足分を新庁舎建設で補う
- ④新庁舎の建設は経済情勢も鑑み、当面見送るべきだ
- ⑤新庁舎の建設はやめるべきだ
- ⑥新庁舎建設事業に関する情報が不足しており、よくわからない
- ⑦その他 ()

設問 24. 新市庁舎を市民参加のもとで計画するために委員会なりワークショップ[※]を開催するならば、あなたは参加したいと思いますか。

- ①ぜひ参加したい ②参加を検討する ③参加したいが忙しくて無理
- ④興味はない ⑤参加したくない
- ⑥その他 ()

※ ワークショップ(workshop) : 英語のもともとの意味は、「工房」「作業場」など、共同で何かを作る場所を意味しています。それが、住民参加のまちづくりにおいて、一方的な知識伝達のスタイルではなく、自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学びあったり創り出したりする、双方向的な学びと創造のスタイルの会議の場です。

設問 25. 今までに行政にかかわる委員会の委員になったりワークショップに参加した経験がありますか。

- ①何回も参加した ②参加したことがある ③参加したことは余りない
- ④まったくくない

ここからは、新たな庁舎像に関するアンケートです

以下は新庁舎を建設すると仮定して、あなたのお考えをご回答ください。

(ただし、新庁舎建設の市民意向も未定です。またここにあげた計画やアイデアが実際に実施されるかどうかは確定していません)

設問 26. 新庁舎では大規模な駐車場を用意して、東京への高速バスに乗る時に車でそこまで行って駐車させることが出来るようにする計画（パーク・アンド・ライド方式）が考えられますが、あなたはご利用になりますか。

- ①ぜひ利用したい ②利用するかもしれない ③余り利用しない ④全く利用しない
⑤わからない

設問 27. 庁舎の会議室等を夜間や土日に市民に開放している自治体もあります。あなたは賛成ですか反対ですか。

- ①大いに賛成 ②やや賛成 ③やや反対 ④反対 ⑤わからない

設問 28. 新庁舎の前にお祭り用の芝生広場を計画することも考えられます。お祭りが無い時はグラウンドゴルフ場やゲートボール場に利用することも考えられますが、あなたは賛成ですか反対ですか。

- ①大いに賛成 ②やや賛成 ③やや反対 ④反対 ⑤わからない

設問 29. 基本計画では「市民に分かりやすく」「開かれた庁舎」「耐震性に優れ」「環境に配慮した」「社会情勢の変化に対応できるフレキシブルで長寿命な庁舎」を提唱しています。加えて、「計画への市民参加」、「市民への庁舎開放」の観点を強化して建設することが考えられますがあなたのお考えをお聞かせください。

- ①大いに賛成 ②やや賛成 ③やや反対 ④反対 ⑤わからない

設問 30. 他に新庁舎に関するご意見を自由にお書きください。

ありがとうございました。 7月 12日（日）までに
記入の上、同封の封筒に入れ切手は貼らずにそのまま投函してください。

集計結果については市の広報やホームページ等で皆様にご報告する予定です。

資料2 新庁舎建設賛否市民意向調査フリーアンサー整理表

建設賛成

新庁舎建設市民意向調査フリーアンサー整理表

建設反対

◆無条件で建設賛成

0810-①
市民の声を良く聞き、市の活性になる様な庁舎になる様希望します。
60代 無職

0880-①
合併には反対でした。してしまったからには、新庁舎は必要だと思います。今のままでは、広い庁舎内に職員がバラバラでは活気がなくもったいない。
50代 自営業

0814-②
他の役所と比較して、現在の庁舎が古く見劣りする。ある程度市の顔にふさわしい立派な庁舎が建つとよい
40代 公務員

0199-②
いつかは建設しなければならぬ合併特別債を利用して建設し、志気を高める事も良いことでは
60代 無職

◆人員削減など効率化・合理化を進める

0786
新庁舎は職員が効率よく働けるようにつくり職員の大幅な削減を希望
60代 自営業

0819-③
合併して、今まで江戸崎、新利根、東、桜川の4つの役場があり、この4つの役場で働く公務員は多くありませんか？市民からの税金なので考えてほしい。
50代 会社員

0813-③
役人へらせ
40代 会社員

0757-②
新庁舎の建設にともなう人員整理か、役所のムダなどの削減
30代 専業主婦

◆分庁舎の再利用

0881
仮に新庁舎を建設された場合、現庁舎は全部とりわかれてしまうのですか？もしそうだった場合、東地区のよう所からは、大変不便になると思います。
50代 パート・アルバイト

0202
東分庁舎が桜川分庁舎、どちらか一方は残してほしい
50代 自営業

1135-⑤
桜川や東等の支所は簡易でも残してほしい
30代 会社員

0768-③
距離も遠くなり勤め人には不便です。他の庁舎を無くすのなら考慮をお願いします。
40代 会社員

◆断固反対

0237-①
合併特別債を考慮しつつ住民参加を条件に当面見送り、住民の納得（8~9割の賛同）と各地区の意見を尊重すること
60代 パート・アルバイト

0853
特に今の分庁舎のままでも不自由さはないので、それほど急いで建てなくてもよい
60代 パート・アルバイト

0215-④
建物行政ではなく、新しい行政を目指してほしい。
40代 会社員

0851-③
ほとんどの庁舎が15年後に耐用年数を超えるとしても、15年後、また合併しているかもしれないし、インターネットなどにより、手続きも楽になるのでは？
40代 会社員

0763
新庁舎は反対です財政再建が先です
30代 無職

0813-②
人口少なくなるし、積立金ほかに使い様あるでしょう。
40代 会社員

0212
新庁舎は無駄であり、いらぬ
50代 専業主婦

0833-①
交通手段がないお年寄りが多い地域で、わざわざ1つにする必要があるのだろうか！？
20代 会社員

0951
個人的には市民に負担がかかるのであれば、建設を見送るのもひとつだと思う
40代 会社員

0826
広い福敷市に新庁舎1つだけになってしまつと、とても不便になる人がたくさんいると思うので、このままの状態であつてほしい。
30代 パート・アルバイト

◆コストの削減をしながら建設

0844
あまりお金をかけず、必要最低限の設備と耐久性があればいいと思います。
30代 専業主婦

0877-①
新庁舎建設に45億円もかけるならば、その半分を建設して、残りの半分は地域の下水道及び道路整備に使ってほしい。
50代 専業主婦

0880-③
新庁舎は見目にもこだわらず、シンプルに、椅子や机も今のものを利用して、なるべくお金をかけないでほしいと思います。
50代 自営業

0865
新庁舎建設は賛成ですが、豪華すぎる建物は、必要ありません。コスト削減で願います。
60代 専業主婦

0204-①
基本計画の45億円は非常に高過ぎる特別債を利用するとしても、もっと経費を削減できるはず
30代 会社員

0761-②
環境、利便性、コストなどのバランスを重視することが大切
20代 パート・アルバイト

◆公共交通の補強を進める

0912
道を広くしたり、市民バスを運行したりして対処をしないと、きつと高齢者が困る
20代 学生

0823
老人在新庁舎や病院などに行くのに、電話せず決まった時間にバスが乗れるようにお願いします
60代 無職

1073
高齢と病気で体が不自由（夫婦共）で今より遠くなることは非常に不便
60代 無職

0850-①
市内から新庁舎に行くバスを運行を計画して下さい
60代 無職

◆建設予定地に対する批判

0229-①
市民にとって遠くなる西高跡地に建設するのなら、美浦村も吸収合併する努力をして市全体の中心に近付けるべき
60代 無職

0773
江戸崎西高等学校跡地に建設するのは絶対賛成できません！市の真中に建設すべき
30代 自営業

0245-②
建設地は市の端に住む住民の利便性も考えて計画してほしい
10代 学生

0789-③
江戸崎西高校跡地の案が提示されているが、もっと中心の良い場所が無いが、再度検討してほしい
60代 専業主婦

0837
市民にとっては「市・県の土地」「圏央道インターチェンジ付近」よりも「市の真ん中」「人口の中心」であることがいづらば公平
50代 専業主婦

0873
新庁舎が江戸崎西高校跡地になるのであれば不便になるので新庁舎はいらない
40代 会社員

◆コストがかかりすぎるので建設は中止

0819-②
建設費45億円となっていますが、借金して建設して住民税などが上がるのは困ります。
50代 会社員

0819-④
市の借金が增えるなら建設はどうかと思う。
50代 会社員

0232
市の財政を考えて欲しい
10代 学生

◆建物の改善すべき項目

0209-②
福祉施設など住みたいと思えるまづりに、もっとお金を回した方がよいのではないか
20代 学生

0225
エレベーター・エスカレーター車椅子の整備や送迎など高齢者への配慮を考えて欲しい
60代 専業主婦

0863
どこの地区でも集まり事があるとと思うので、その時に自由に使える部屋があるといいと思います。
60代 専業主婦

0211-③
財政の背丈にあったサービスを提供するためには、既存の設備を活用しソフト面での開発を推進するための検討
50代 会社員

0789-①
今地球温暖化対策の時代に合った新庁舎例：太陽光発電の省エネ技術
60代 専業主婦

0798
市民にひらかれたオープンなスペースにしてほしい。結婚式なども利用できるような庁舎にして欲しい。どこかのテレビ番組でみました。
50代 専業主婦

0222
お年寄りが無料か低料金で楽しく過ごせる場所を提供してほしい
50代 農林水産業

0802
新庁舎建設は必要地震に強い建物がよい
50代 会社員

0201
立派な建物を作っても、中身をしっかりとってほしい。建物内で仕事分散され、不便にならないよう対応を立派にして頂きたい
50代 公務員

◆併設施設に対する提案

0238-②
警察署・消防署などの施設を新庁舎一箇所にまとめる
50代 自営業

0854-②
パークアンドライド方式で実現した場合、始発の時間を早く、最終を遅くしてほしい
30代 会社員

0240-①
江戸崎に大きな図書館（勉強できるスペース）が欲しい
10代 学生

0810-②
特に庁舎だけでなく病院等にまで皆が子供の車にお世話にならずに出向ける様願います。合併により今まで以上に税金がかかっています。
60代 無職

0243-①
芝生広場をつくるなら、年代・性別関係なく利用できるようにすべき
20代 パート・アルバイト

0900
多目的ホール・公園のような、休日に親子・友人楽しく過ごせる施設を創ってほしい
60代 専業主婦

◆新庁舎建設とともに行政サービスの改善すべき点

0743-③
インターネットをもっと活用して、申請や手続きのほとんどができて便利
40代 会社員

0776-①
電車の利用ができない租敷市では車（自家用）利用が主となる。駐車場と周辺道路の整備が不可欠。
50代 会社員

0803-②
もっとそんな物より病院をたてるとか年よりによい町村にしてください
60代 専業主婦

0751-②
住民票1枚とりに行くだけで、往復1時間もかかってしまうようなサービスの仕方では、納得いきません。
10代 パート・アルバイト

0756-③
若者が外に出て行かなくてすむような街づくり
60代 自営業

0851-②
高齢者の中でもっと福祉面へのお金を使った方がよいのでは？龍ヶ崎市のように100円バス、スポーツ施設にお金を使った方がよいと思います。
40代 会社員

0862-②
効率化も必要なこととは思いますが、地域住民の利便性を第1に考えて下さい
60代 無職

1059
大金を投じて庁舎建設をするより前にすべきことがある。後継者難、疲弊している農業経営に配慮していただきたい
60代 農林水産業

0215-⑤
役所業務マイスターを育成してもらった方が嬉しい。
40代 会社員

0803-①
私達は今の家に長く住まないで税金や年金、国保のお金があつたりなにかについて高くつくのでこまります。
60代 専業主婦

0885-①
下らない庁舎に予算を使うなら、仕事もロクにしない人員カットし町の区画整理や人口減をよく考えて効率いい税金を使うべき。
40代 パート・アルバイト

0822-③
ここは農業の地である。もっと農業に力を入れていただきたい。農民は税金を払うだけで何も知らされない。
20代 専業主婦

凡例

「江戸崎地区」居住者コメント
「桜川地区」居住者コメント
「新利根地区」居住者コメント
「東地区」居住者コメント

←青線：男性
←赤線：女性

行政一般に対する意見

0239-⑤
市長のリーダーシップと勇気ある決断と実行力を期待し、活力ある市政運営を希望
60代 農林水産業

0739
市長は反対だったはず
60代 農林水産業

0868-①
市民生活のサポートを最大のプライオリティとして計画をお願いしたい。
60代 無職

0801-①
市町村合併時に公務員の削減の話はどうなったのか減るところどころに増加していないか？
40代 会社員

0241-①
そもそも4町村が合併する理由があつたのか？
60代 会社員

0883-①
合併してからは市民税が高くなり先が不安です！
60代 無職

0872
新庁舎の前に学校の耐震工事が先では、ないでしょうか。
60代 自営業

0949
新庁舎も働いている職員には必要だが、それよりも小中学校舎の建設を早急にお願したい。コンクリートの破片が落ちてくる校舎で勉強する子供が可哀そうだ
40代 専業主婦

0204-②
市内の小中学校の耐震化をお願いします。子供たちの安全が最優先事項だと思います。
30代 会社員

0237-④
耐震基準の件だが、住民の一般住宅に関する説明は一切なしに、先に役所というも設備が欠け納得しがたい
60代 パート・アルバイト

0859-②
合併特別債はもっと市民から広い希望（意見）を聞いて最有利なものに使うべき
50代 パート・アルバイト

0754
2000人の意見だけ聞いてもだめだと思う。全世帯にアンケート調査をして、もっと市民の考えを聞いた方がいい
30代 専業主婦

0211-④
新庁舎建設について全く市民からは是非を問うてない。
50代 会社員

0852-②
市民参加型で意見を聞き施設建設に反映してください。
40代 会社員

0849
議員さんの話ばかりでなく市民の皆さんの意見を聞いて下さい。
60代 無職

0237-③
新庁舎建設に関する議員の立場での考えを表明する義務がある
60代 パート・アルバイト

0771-①
Flexibleや分かりやすい、開かれたなど、今全くそう思わない
20代 学生

0827-②
話し合い、会議、地域住民の意見を聞いてもまとまらないと考えるから。
50代 専業主婦

0236
新庁舎建設に対する情報が不足しているため、よくわからない
50代 専業主婦

0243-③
計画自体をもっと知らせ、市民の意見を聞き、建設するかを考えるべき
20代 パート・アルバイト

0816-④
市民に不信感を与えない情報公開と、透明性のある入札を願望する。
50代 公務員

0224-②
工事日程など、周辺住民にわかりやすく、密に説明をを求める。
40代 自営業

0821-②
計画を市民に公開するなどして不要なコストを削減するよう努力してもらいたい。
20代 会社員

0820-①
新庁舎建設に対してすべてに反対じゃないが、もっと民意聴取に時間をかけて欲しい。
20代 会社員